

実践民俗学提唱 45 年の歩み



興湧し作業 1977.8.7

西中国山地民具を守る会

実践民俗学提唱 45 年の歩み

も く じ

はじめに	2
「西中国山地民具を守る会」の活動記録	3
昭和 43 年 結成時 実践民俗学提唱	3
昭和 48 年 5周年 金城民俗資料館開館	10
昭和 53 年 10周年 金城歴史民俗資料館開館	13
昭和 58 年 15周年 波佐一本松城学術調査開始	16
昭和 63 年 20周年 能海寛生誕120年特別展	19
平成 5 年 25周年 七渡瀬Ⅱ遺跡発掘調査開始	22
平成 10 年 30周年 特別企画展『能海寛チベット仕途100年・生誕130年』	25
平成 15 年 35周年 『能海寛ふるさと100Kmトレイル遠足』支援	26
平成 20 年 40周年 生誕140年記念『チベット巡礼探検家・能海寛展』	30
平成 25 年 45周年 記念イベント『市民感謝デー』	36
「かなぎ民俗」(周知版)	39
ふるさと学習は金城歴史民俗資料館で	40
浜田市金城民俗資料館	41
館内展示の特徴	41
収蔵品一覧	41
民俗資料館平面図	42
浜田市金城歴史民俗資料館	43
館内展示の特徴	43
収蔵品一覧	43
歴史民俗資料館平面図	44
金城町内の文化財一覧	45
西中国山地民具を守る会会則	46
西中国山地民具を守る会三大目標・会員名簿	48
ま と め	49

はじめに

昭和30年代に入ると農機具の機械化が始まり農作業が大きく変容してきた。あわせて後半より電化製品の購入費や農機具代金の支払いで現金収入の途が必要となり農閑期の出稼ぎが盛んに行われるようになった。昭和40年代になると「38豪雪」による間接的な離村者が増加して過疎化が進んできた。

このような時代背景の中で、茅葺き農家が瓦屋根に改築されることが盛んに行われるようになってきた。屋根裏に収納されていた民俗資料が狭く間に焼却処分されていく様を目の当たりにし、民俗資料の保護こそ緊急の課題と捉えて、集団による短期決戦で保護収集活動が大切であると判断して同志を募ることとして20名近くの人に発起人会の呼び掛けをした結果 15名の参加を得た。協議の結果『西中国山地民具を守る会』と名付けることとなった。ある議員さんは「名前負けしなければよいがなあ」、とも言われた。当初は西中国山地全域の民俗資料の収集をとの思いもあって大きな名前を掲げたのである。

当時は、民俗資料の調査・収集・研究・展示・活用といった一連の流れに至るまでは程遠かったのである。『民具収集のてびき』を発行して、昭和43年12月から翌年の3月まで民俗資料についての研修を重ねて行ったのである。この4か月間の研修と学習で基礎的な考え方を会員全員が共有できたのである。

民俗資料の収集活動は、昭和44年3月18日からスタートした。「一家一点運動」の展開や「子・孫の時代へ民俗資料の保管を継承する運動」の推進、民俗の「聞き取り調査」の実施、「紙漉き習俗」の聞き取り作業、「紙漉き小論文集」の発行、「実践民俗学」を提唱して、「旧製法の紙漉き再現」と記録作成、「農具を用いた労働慣行」の再現と記録作成、麻の栽培、麻蒸し作業と記録作成などと、民俗資料館・歴史民俗資料館の建設運動の推進事業を並行して推進してきた。

地区の民家から2,500余点の民具の提供を受け国・県指定民俗文化財の指定を申請した結果、「波佐の山村生産用具」758点(国指定重要有形民俗文化財)、「波佐の山村生活用具」221点(鳥取県指定有形民俗文化財)の指定を受け、続いて金城町民俗資料館の建設運動を推進して昭和48年11月3日に完成オープンをみた。

たたら製品の一時保管場所としての「たたら倉」を文化財としての保存と活用を提唱した結果、昭和53年11月3日に金城町歴史民俗資料館の誕生をみた。この歴史民俗資料館には、チベット探検家の能海寛の資料、日本近代劇の先駆者の島村抱月の資料、たたら関係古文書・製鉄用具・砂鉄最終用具、町内から出土した埋蔵文化財などを展示している。

これらの資料館建設等にあわせて埋蔵文化財の発掘調査も実施した。長田郷遺跡(縄文・弥生・古墳・奈良時代の土器、石器など3,000点)、七渡瀬Ⅰ遺跡(遠賀川式土器の出土で山間部の米作起源が判明)、七渡瀬Ⅱ遺跡(弥生・古墳・奈良時代の住居跡)、千年比丘一号墳(石見地方唯一の4世紀前半の円墳)、波佐一本松城跡(中世城郭の実測調査)の平板測量、南北300メートル、東西50メートルの範囲の50センチメートル断面測量を実施。笠松峠の石畳路の保存整備事業(資料収集・測量・草刈奉仕作業)、夏期文化財講座(文化財講演会・文化財巡見・文化財めぐり・ふるさと学習)などを実施して、小・中学生・一般を巻き込んでの学習啓蒙活動も継続してきた。

この度、西中国山地民具を守る会結成45周年を迎えるに当たり、これまでの活動状況を『実践民俗学 提唱45年の歩み』にまとめて発行いたしました。

「西中国山地民具を守る会」の活動記録

昭和43年(1968年)

- 11月20日 波佐史学研究会(上田房一・隅田正三)が「民俗資料保護に関する案件」を企画提唱する。
- 11月26日 関本益夫、上山均、上田房一、隅田正三の4名で民具収集・保存に関する発起委員会を開催し、具体案を検討する。趣意書は上山、隅田が作成する。
- 12月 2日 民具収集発起人会を関本益夫、上山均、和田熊三郎、山岡憲真、加納昭則、岩田磨男、塚本貞義、一町仁市、上田房一、隅田正三の10名で仮称「郷土民具を守る会」とする。
- 12月 5日～昭和44年2月13日 民具収集のてびきの原稿作成に入り「民具収集のてびき」(20P)30冊作成し会員研修資料として活用する。その他の作成した資料は、「民具分布調査リスト」、「民俗資料調査用紙」、「民俗資料採集調査記録用紙」、「民具提供者への受取証」、「民俗資料調査表」、「民俗資料標本(ラベル)」、「民具収集についてのご依頼書」、「民具分類項目表」である。

昭和44年(1969年)

- 2月22日 会の名称は、「西中国山地民具を守る会」とし、会則を承認。役員選出は次回に。
- 2月27日 第1回総会の役員選挙で、会長:一町仁市。副会長:岩田磨男。幹事長:上田房一。幹事:関本益夫、古田安五郎、塚本貞義、山岡憲真、岡本弘三、佐田達雄、隅田哲夫。庶務:上山均、隅田正三。会計:加納昭則。監事:和田熊三郎、上山信人。の総勢15名でスタートする。民具分布調査リスト用紙の配布。重点収集品目の選定。
- 3月18日 民具の調査・採集・収納開始。長田地区16点。毎月1回、民俗学について学習する。
- 3月21日 民具の調査・収納、若生地区全域158点(軽三輪車4台分)。3月24日、4月2日も民具収納。
- 6月 3日 民具収納場所(旧役場支所)の清掃、民具の整理・分類作業。民具採集記録簿の作成。
- 6月 9日 民具分類表の作成に入る。
- 6月10日 小国地区で聞き取り調査と民具収納。
- 6月10日 波佐地区(馬場・新井屋原)で民具21点収納。長田地区(東谷下)で民具収納。
- 6月11日 中国新聞・毎日新聞より取材。
- 6月12日 民具研修会。民具の収集計画、15日～20日長田地区。20日～25日隅田哲夫担当区、25日～30日塚本担当区。民具の未収リストの読み合わせ。予算計画を立て、当面は借入金で運営する。民具を守る会三大目標を資料室に掲示する。
- 6月13日 民具の収納8点。



「民具収集のてびき」



民俗資料収集開始の頃



波佐・長田地区

- 6月30日 深笹地区から民具22点収納。
- 7月 2日 民具研修会。民具収納18点。民具手入れ。研修会を開催。午後、座談会(教委・村議)。
- 7月 3日 民具の収納44点。7月6日 民具の手入れ。名称の記入など。7月11日 民具研修会。
- 7月12日、7月13日、7月16日、民具の収納。
- 7月19日 研修会:今後の収納と手入れについて。展示カードについて。
- 7月27日 古和村長へ指定民具の申請について相談(一町、岩田、上山、隅田)。
- 8月15日 民具の対照。8月16日、民具の対照。8月17日、民具の資料作成。
- 8月24日 古和村長民具の視察に来場。
- 8月26日 民具研修会:今後の収集方針について。◎藩政以降の山村生産・生活用具。重点収集品目の選定(地域性を活かして)、展示会の準備(11月2日～3日開催予定)。
- 9月 4日 調査書の整理・分類作業、台帳の整備、カードの記入作業開始。
- 9月 6日 NHK松江放送局から取材照会。9月8日、資料作成。
- 9月 9日 浜田・那賀地区文化財専門委員の桑原龍一氏民具の下見で来場。
- 9月10日・11日・13日・16日・20日 分類・資料作成作業。
- 9月22日 調査カードの記入作業。古和村長より県文化財係長訪問の連絡あり。
- 9月23日・25日・26日・27日・28日 調査票記入(寸法計測)。9月4日～28日(15日間・52人役)。
- 9月30日 鳥根県社会教育課文化財係を訪問(山崎、一町、上田、岩田、上山、隅田)石塚主査より指導を受ける。広瀬町民俗資料館見学。
- 10月 2日・4日・5日・6日・7日・8日・9日 カード記入作業。
- 10月14日 朝日新聞より取材に来場。展示会の腹案ねり。カード添付作業。
- 10月15日・16日・17日・18日・19日 展示会準備。
- 10月25日 民具研修会。屋根漏りの修理、床の東上げ、戸の修理。展示施設の作成。周辺の清掃。庭木の枝下ろし。(8時から17時・10名参加)。27日・28日・29日・30日「郷土年表」の作成。
- 10月31日 録音構成の打ち合わせ。「農作業ごよみ」の作成。
- 11月 1日 展示準備。「収蔵目録」作成。展示会場で流すテープを民謡研究会(小林定雄、岡本良生、沖田敏枝、岡本正儀、榎並貞子)の協賛を受ける。10月2日～11月1日(26日間・92人役)。
- 11月 2日～3日 民俗資料展示会開催。2日間の入場者数650人名。協賛行事=美術展・あゆみの会、民謡:保存会の人たち、生け花:有志、会員各部署で受持ち(受付・案内・放送・聞き取り)。中国新聞・読売新聞取材に来場。手伝い(小林定雄、沖田敏枝、榎並貞子、隅田孝一、隅田ミツヨ、清水倅、清水美子、上山夏江)。会員=一町、岩田、岡本、佐田、吉田、上田、塚本、上山、上山、隅田、隅田、加納、和田、横山、岡田。
- 11月 4日 展示会の整理。NHK来場。波佐小学校5・6年生50名見学。
- 11月 5日 町民歌の作詞者宮田隆氏古和町長等と来場。
- 11月 9日 民具研修会。屋根修理の計算書作成。これからの活動方針協議(一点毎の写真撮影・材料・寸法の記入など)。14日、帳簿の整理。



- 11月15日 NHKより取材に来館。26日「文化財の保護・・・民具」放映。午後から榎床博物館へ見学。
- 11月22日・23日 長田地区(東谷上)民具の収納80点。
- 11月24日 地機(のり)の収納3点。聞き取り調査。11月27日 地機(のり)の組立。30日・12月1日 分類作業。
- 12月 4日 教育委員会との打合せ会(資料の収集活動について。資料館の建設準備と請願書の提出。民俗資料指定に向けて)。
- 12月11日 県教委より指定申請用紙の見本が送付され町教育委員会で打合せ。
- 12月21日 民具研修会。衆議院選挙に伴い展示施設の取替え作業。この時点での、民具提供者150名820点。調査・収集に48日間、100人役。記録・分類整理に41日間、150人役を費やした。

昭和45年(1970年)

- 1月 2日 役員会(総会準備・事業計画・予算案など)。
- 1月 6日・7日 総会準備。
- 1月11日 第2回定期総会開催。
- 1月12日・17日・23日・25日・26日・29日 2月2日・3日・11日・13日・14日・15日・16日 一覧表の作成作業(13日間・49人役)。
- 2月22日 研修会並びに地区の古老に話しを聞く会。
- 3月22日・25日・27日 民具の写真撮影に入る。30日、「がしん俵」を収納。民具の写真撮影。
- 4月 2日 民具の収納9点。御幣俵の調査。12日、民具写真撮影。夜役員会。
- 3月22日～4月20日 記録・撮影作業(13日間・22人役)。
- 4月21日 県教委から石塚主査「民具調査」のため来館。指導を受ける。「波佐の山村生産用具」として5月15日までに一覧表にとりまとめるよう指示を受ける。責任者の分担を決める。
上田＝農具。上山＝山樵、運搬、仕事着。隅田＝紙漉き、紡織。
- 4月22日より一覧表の作成作業に入る。
- 5月 8日 役員会(一覧表の清書前に目を通し打合せを行い、10日から清書作業に入る)。
- 5月11日 小林ウメ氏より紙漉き、佐竹操氏より紡織について聞き取り調査。炭焼き用具15点収納。
- 5月12日 「一覧表」の清書、上山分(運搬具、仕事着、山樵)完成。隅田分(紡織)完成。
- 4月22日～5月12日 「民俗資料一覧表」作成作業(14日間・42人役)。
- 5月13日 「一覧表」の清書、上田分(農具)完成。隅田分(紙漉き)完成。農協で3部づつコピーして、県教委へ速速で郵送する。
- 5月15日 毎日新聞松江支局から電話照会あり、5月20日付掲載。
- 5月29日 波佐上地区から紡織用具収納。
- 6月 7日 県教委から電話連絡あり。紙漉き関係が有望との情報が入る。カルテ正副2通作成(写真添付)の上、8月中旬に申請するよう指示を受ける。文化庁から秋頃視察がある旨連絡を受ける。
- 6月 8日 町教委との打合せ(調査書、写真など)。波佐上地区より民具(農具)収納。



仕事着展示コーナー



がしん俵



御幣俵



民俗資料館オープニングの様相

- 6月9日 町教委よりフィルム20本届く。
- 6月10日 カルテの印刷で役場へ行く。小国地区で民具（農具・紡織）収納25点。
- 6月11日 研修会（経過報告、写真撮影の準備と分担）。
- 6月13日 民具の撮影用のセット作り。夜8時からカルテの整理。14日もカルテの整理。
- 6月15日 波佐上地区より民具収納12点。
- 6月16日 小国地区より民具収納。カルテ整理。17日もカルテ整理。
- 6月18日 紙漉き用具25点撮影。19日、紙漉き用具36点撮影。20日、紙漉き用具16点撮影。
- 6月21日 民具収納カルテ記入。
- 6月22日 民具撮影(9:00~22:30)200点。小国地区より民具収納20点。
- 6月23日 長田地区より民具（紡織）収納。24日民具撮影(紡織)20点。
- 6月25日 民具撮影（紡織28点、仕事着45点、農具22点）。夜研修会。田所公民館から16名見学。
- 7月5日 民具撮影(農具)。菅沢で「田ばやし」(録音・撮影)。
- 7月7日 民具の写真貼付作業に入る。21日、県教委からの文書（カルテ・一覧表について）
- 7月28日 聞き取り調査。
- 8月2日 民具撮影。町教委と交渉（一覧表の印刷の件）。3日、聞き取り調査（紙漉き）。
- 8月4日 カルテの清書（紙漉き用具）。印刷所へ一覧表発注（7日出来上がり）。
- 8月5日 市木公民館より10名見学。波佐地区（菅沢）より民具収納。
- 8月6日・7日・8日 カルテの清書。聞き取り調査（山樵）。9日、民具写真撮影終了。
- 8月10日 町教委との座談会（資金の援助、学生アルバイトの件）。写真費ばみ分の続き直し依頼。
- 8月11日・12日・13日 民具清書（紙漉き）。
- 8月13日～26日 斉藤浩子さんにカルテ記入を手伝ってもらう（会員が1枚仕上げたものを3枚のカードに転写するため）。
- 8月15日 カルテへ写真貼付（紡織）。16日 カルテ清書。波佐上地区（西谷上）より民具収納10点。
- 8月17日・18日・19日・20日・21日・22日・23日・24日・25日・26日・27日 カルテ記入作業。
- 8月27日 県教委へ出張(町教委野田氏、隅田)。アルバム2冊新しく作成し、9月2日が最終提出日。
- 8月28日 町教委（野田・河野）からも支援。アルバム用写真作成に入る。
- 8月29日・30日・31日 カルテの記入。(5月29日～9月1日・52日間・152人役)。
- 9月1日 アルバム写真貼付。カルテ・一覧表へラベル貼りと荷造り。
- 9月2日 県教委へ申請書提出（佐々木教育長、野田係長、上山、隅田）。一覧表1冊(2組)、カルテ8冊(2組)。「波佐の山村生産用具 758点」内訳（農具244点、山樵用具110点、紙漉き用具110点、紡織用具152点、運搬具64点、仕事着78点）。
- 9月3日 後始末（清掃・借り物返品）。
- 9月11日 午前中清掃。町教委・内藤氏手伝い。午後は展示整理(山樵・紙漉き・紡織)。
- 9月12日 民具の展示・整理（仕事着・運搬・農具）。
- 9月13日 県文化財専門委員の牛尾三千夫・勝部正郊両文化財専門委員調査で来館。



調理・調整用具

山樵用具

紙漉き用具

- 9月15日 資料館建設に向けて樽床民俗博物館視察。
- 9月18日 「波佐の山村生産用具758点」が県文化財（民俗資料）に答申される。新聞社から問い合わせ殺到。9月19日の新聞に報道される（毎日新聞・朝日新聞・読売新聞・島根新聞）。
- 9月21日 民具を守る会から県指定への同意書を提出。
- 9月23日 役員会開催（建設用地の選定・写真の整理・清掃）。
- 9月24日 「波佐の山村生産用具」758点県指定民俗資料に正式決定（指定日は27日付け）。加計高校芸北分校から2名見学。
- 9月25日 田原設計事務所から収蔵庫の件で来館。予定地の下見。概略の見取り図（建坪）。
- 10月27日 付「波佐の山村生産用具」758点が島根県指定民俗資料となる。県教委では引き続き文化庁へ申請される。
- 11月26日 文化庁より田原久調査官視察（県教委石塚氏同伴）。一覧表2部、アルバム2冊「波佐の民具」追加、「波佐の概要」をまとめ12月中旬までに提出する。町教委から佐々木教育長、今満次長、野田係長が出席。夜指導を受けて検討会をする。
- 11月27日 写真撮影。民具（山樵）収納。一覧表（清書）作成。28日・29日・30日 一覧表作成。（41人役）。
- 12月 1日 写真撮影。波佐の概要の資料収集。一覧表（紡織）完成。
- 12月 2日 カルテ清書（上田）、一覧表清書（上山）、波佐の概況（隅田）。
- 12月 3日 カルテ清書（差替え分）、一覧表清書、波佐の概要（沿革）。
- 12月 4日 フィルム現像出し。波佐の概況（位置）。5日、一覧表（農具）完成。
- 12月 6日 一覧表（仕事着・運搬具）完成。
- 12月 7日 カルテ完成（差替え分）。波佐の概況（地勢・気候）。関取り調査（山樵）。
- 12月 8日 アルバムへ番号印を押印。一覧表のコピーを依頼（町役場へ）。波佐の概況（面積）。
- 12月 9日 アルバム写真番号の名称記入。コピー出来上がる。カルテ不足分添付。
- 12月10日 一覧表・カルテ・アルバムが完成。荷造り完了（連絡事項を箇条書きにして送付する）。
- 10月27日～12月10日 一覧表の追加作成（14日間・41人役）。
- 12月11日 県教委へ上山氏が持参する。波佐の概況。12日・13日・14日「波佐の概況」完成。
- 12月20日 第3回定期総会開催。文化財関係の16ミリ映画上映。

昭和46年（1971年）

- 3月29日 「波佐の山村生産用具758点」が国指定重要民俗資料に答申される。30日新聞に報道。
- 4月 1日、江津市より3名見学。
- 4月11日 中国新聞「紙漉き道具について」報道。20日、NHKより取材で来館。
- 4月27日 収蔵庫建設に対する準備について（県教委石塚主査より連絡）。
- 5月 1日 金城町より取材。「波佐の山村生産用具」の手作りパンフレット作成。
- 5月 7日 収蔵庫建設用地の交渉（一町・隅田）。



紙漉き用具展示コーナー



楮こしき

- 5月18日 津和野教育委員会より11名視察。25日、大阪商業大学富岡助教授来館。31日、出雲市より3名見学。6月8日 研修会。民具県指定への追加申請の件。匹見町親和会より30名見学。
- 6月15日 町教委へ補助金申請(追加申請のための写真撮影)。匹見町教委より10名見学。
- 6月18日 民具の撮影開始。21日、調理用具。23日、飲食用具。25日、飲食用具。27日、調理・調製具。
- 6月29日 灯火用具。7月1日、狩猟用具・家具。4日、装身具。NHKより取材。5日、家具。6日・8日、民具撮影完了。カルテ作成に入る。7月13日、NHKテレビ放映「民具とくらし」。
- 7月14日 民具追加申請一覧表完成(コピー2部)。町内婦人会15名見学。
- 7月15日 研修旅行(頓原町収蔵庫・吉田村菅谷たたら・広瀬町収蔵庫・安楽和銅会館・中仲寺古墳)。県教委へ一覧表コピーを持参する。19日、安部栄四郎氏来館。
- 7月20日 民俗資料のパンフの作成に入る。25日、パンフ完成。
- 8月 4日 静岡女子高校3名見学。5日、江津市青山中学校より25名見学。15日、浜田市より2名、小国より5名見学。18日、県教職員18名見学。22日、浜田商業高校より見学。25日、東京都写真家2名見学。
- 9月 4日 県教委石塚主査より県指定申請は「調理・食器について」が有望視される旨連絡が入る。
- 9月 7日 町教委へ申請用の写真焼付け資金を依頼する。
- 9月13日 申請用の写真出来上がり、カルテに貼付作業を始める。松江市アマ写真家3名来館。
- 10月 8日 宮島町長視察のため来館(3名)。11日、旭町・浜田市より3名見学。12日、町内より3名見学。
- 10月18日 カルテ・一覧表完成。10月20日付で申請書提出。
- 6月18日～10月18日 食生活の民具を県指定に申請するため撮影・調査表・一覧表作成(73日間・135人役)。22日、江津市・大田市・佐田町より見学。
- 10月23日 町教委へ申請書提出。27日、資料館清掃。
- 10月 『季刊文化財』第15号へ会員の隅田正三が「波佐の紙漉きと紙布づくり」を発表する。
- 11月16日 本会が金城町15周年記念式典において「文化財保護活動」で表彰を受ける。
- 11月22日 研修会。実践民俗学として「紙漉き習俗」の記録作成をすることに決定。12月上旬から翌年にまたがって実施。美都町教委より6名視察。
- 11月23日 陳情書の草案づくり。24日、町教委へ紙漉き記録の作成計画の報告。陳情書清書。
- 11月26日 金城町民俗資料館建設に関わる陳情書提出。27日、文化庁専門委員10名視察。
- 11月28日 「波佐の紙漉き習俗」の日程表、趣旨を起草。29日、「波佐の紙漉き習俗」印刷。
- 11月30日 旭町教委3名視察。
- 12月 1日 浜田高校より3名見学。実践民俗学第1弾「波佐の紙漉き習俗」の記録作成のため写真撮影に入る。糟窯の赤土運び。紙漉き家屋の下見。こしき搬入。



金城町長より表彰状



紙漉きスタッフ

- 12月 4日 窯つき、櫛伐採。窯の床掘り。櫛切り。
 12月 5日 櫛蒸しと皮剥ぎ作業(記録作成)。櫛切り、枝落し、束ごしらへ、釜焚き、櫛蒸し、皮剥ぎ。
 NHK、中国新聞、読売新聞、鳥根新聞取材。
 12月 8日 櫛のめどり返し作業。
 12月13日 文化庁へ資料送付。
 12月16日 波佐の風景撮影。
 12月15日 文部大臣より「波佐の山村生産用具」758点の国指定書を頂く。
 12月19日 定期総会案内状発送。
 12月20日 事業資金3万円借入。
 12月22日 役員会開催。
 12月24日 第4回定期総会開催。

昭和47年(1972年)

- 1月 5日 櫛こすり作業。9日、木灰集め。10日、煮熟。
 1月11日 灰汁洗い。
 1月12日 データ集めの試し漉きをする。
 1月17日 防火・放水訓練を消防団の協力で実施。文化財防火パトロール(県教委から)。県指定申請中の民具の調査のため岡・原両県文化財専門委員来館。



仕事巻(雑物)

- 2月 1日 「民具だより」発行。
 2月 5日 紙叩き。
 2月13日 トロロ叩き・水洗い。
 2月14日 紙漉き実演。
 2月16日 紙漉き。
 2月17日 天日乾燥。
 2月14日～15日 旧製法による紙漉き作業(記録作成)。
 3月 7日 収蔵庫ヒヤリングのため上松。展示計画について打合せ。
 4月 3日 展示計画書完成。



岡伊良の岡

- 5月 『教育広報』誌のグループ紹介で民具を守る会が紹介される。
 6月 3日 研修会(資料館の建設について)。
 7月28日 付「波佐の山村生活用具 221点」が鳥根県指定民俗資料となる。
 (内訳) 食品・製造・貯蔵用具41点。食物調理調製用具76点。飲食用具104点。
 8月 5日 特別研修会。
 8月17日 収蔵庫入札(中山工務店落札)。
 8月31日 収蔵庫起工式(現地)。



櫛蒸し(へこ巻き)作業



仮収蔵庫前の波佐大橋で消防放水訓練

- 9月 6日 文化庁長官より国指定「波佐の山村生産用具」の管理すべき地方公共団体として金城町が指定される。
- 10月 5日～6日 文化財愛護活動全国研究集会（松江市・本会から3名参加）。
- 10月21日 文化庁から半沢技官・収蔵庫監督のため来波。
- 12月10日 実践民俗学第2弾「精窯」の解体・運搬・復元作業（収蔵庫に移設のため）。

昭和48年(1973年)

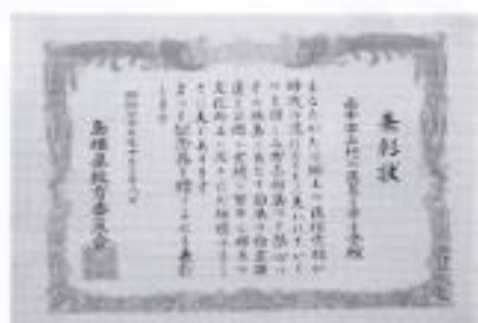
- 1月18日 研修会。文化財防火デーにちなみ防火・放水訓練を実施。
- 1月25日 NHKテレビで「きょうの話題 民具を集める」で本会の活動が放映される。
- 1月28日 第5回定期総会。
- 3月28日～4月2日 実践民俗学第3弾「いろりの間」資料館内へ復元 移築。「精窯」の構築。
- 4月15日 研修会(民具の収蔵・展示計画など)。
- 5月17日 収蔵庫完成検査。
- 7月 1日 研修会(民具の移動計画など)。
- 7月 8日 収蔵庫へ民具搬入のため清掃作業。9日 仮収蔵施設から資料館へ民具の移動作業。
- 7月10日～10月31日 民具の展示作業（25日間・83人役）。
- 9月26日 県教委文化課石塚主査より展示指導を受ける。
- 10月23日 資料館オープン前の事前打合せ会。
- 11月 3日 金城町民俗資料館オープン。本会が竣工式において金城町長より「感謝状」を受ける。
資料館パンフレット作成（原稿提出）。
- 11月10日 民具を守る会が町より管理の委託を受ける。
- 6月18日～10月24日 「金城町民俗資料館環境整備推進有志」により館庭へ植樹と庭石の配置。

昭和49年(1974年)

- 1月17日文化財防火デーにちなみ防火・放水訓練実施。
第6回定期総会。
- 2月13日 山陰中央テレビ「民具取材」で来館。16日、「レインボーさんいん」で放映される。
- 3月27日 資料館PRのため打合せ会（町教委と）。
- 7月 4日 町教委と民具を守る会の打合せ会(委託書の交付、建物の管理、資料の管理・運営など)。
- 7月19日 民俗資料館のPR看板建立。
- 9月 4日 町教委との連絡会。研修会。看板の移転作業。
- 10月26日～27日 民具研究講座へ隅田事務局長出席（日本青年館）。
- 10月28日 本会が鳥根県教育委員会より教育優良団体として「表彰状」を受ける。
- 11月 4日 役員会。
- 11月 6日 歴史民俗資料調査（文化庁）のため当資料館から衣食住関係民俗資料100点を抽出・調



金城町長より感謝状受賞



鳥根県教育委員会より表彰状受賞

査を開始する。(50年1月中旬まで)。

11月14日～15日 隠岐・出雲路の民俗研修旅行(五箇村郷土館、風土記の丘資料館、出雲玉作遺跡公園、斐川町民俗資料室など)。

12月 4日 町教委・民具を守る会定例連絡会。民具の展示替え作業。

12月19日～20日 金田古墳発掘調査へ会員が参加。

昭和50年(1975年)

1月 4日 役員会開催。1月8日 民俗資料館一部展示替え。

1月19日 民俗資料館消防放水訓練実施。

1月26日 第7回定期総会。

2月 4日 歴史民俗調査提出。

3月28日 町教委との打合せ会開催。

4月 1日 民俗資料館管理(土・日)委託書受領。

5月18日 農作業記録について打合せ。

5月20日 農作業記録「農具を用いた波佐地方の労働慣行」(50年度事業)冊子作成。

5月21日 実践民俗学第4弾・農作業記録「農具を用いた波佐地方の労働慣行再現」・伝統の農作業(代掻き・田植え)実施。(資料館へパネル展示する)。金城町波佐の小谷武友氏田地において行なう。

5月26日 文化庁から伝達の重要民俗資料指定書を町教委より受領。

6月26日～29日 北陸路民俗研修旅行実施。(飛騨民俗村、石川県立郷土資料館、輪島市立民俗資料館など)。

8月10日 本会が団体として山陰民俗学会へ加入する。

8月26日～27日 第1回(夏期)文化財講座 ①文化財講演会「民具・民芸・民俗について」島根大学教授原宏先生。文化財映画上映「日本の古墳」、「聖徳太子と飛鳥文化」、「神々のふるさと」、「平安の四季」。実技指導「陶器の見方について」。受講者62名。

②「郷土の文化財めぐり」を実施。コース：金城町民俗資料館 ⇒ 浄蓮寺・能海寛師遺品 ⇒ 大歳神社 ⇒ 永昌寺(尼子経久公の墓) ⇒ 常磐山八幡宮(大杉) ⇒ 遠田神社 ⇒ 笠松峠の畳石路 ⇒ 弥畝山(昼食) ⇒ 波佐一本松城跡。9月下旬より本会結成7周年事業の準備に入る。

11月 1日 本会の活動記録「民具と共に」(74P)を発刊。

11月25日 実践民俗学第4弾・「伝統の農作業記録作成(脱穀=千歯扱ぎ・調整=唐臼挽き)」実施。

12月中旬 資料館へ写真パネル展示。8mm編集作業。



代掻きとエブリ返し

昭和51年(1976年)

1月 8日 NHKより民具を守る会を取材。

1月13日 第22回文化財防火デーにちなみ「金城町民俗資料館」の防火訓練を消防団員と自衛消防



大床犁による荒起こし

代みて(田植え)

千歯扱ぎ(脱穀作業)

隊が合同で実施。

- 1月14日 NHK テレビで「若者たち」と題して本会の活動状況が放映される。
- 1月24日 第8回定期総会。
- 3月23日 民俗資料館へソフトステップを階段に取り付ける。
- 3月29日 文化庁より天野技官来町。民具を守る会と座談会を開く。研修会。
- 4月 1日 民俗資料館の土・日の管理委託を更新。
- 4月 5日 研修会。
- 4月 9日 町教委と民具を守る会の打合せ会。
- 5月 9日 実践民俗学第5弾「がしん儀のヒエ栽培」発芽実験を県農事試験場とタイアップ開始する。
- 5月29日 波佐文化協会主催の「波佐の花田植」打合せ会。民具を守る会も後援する。
- 6月 4日 民俗資料館の換気扇工事に立ち会う。
- 6月 6日 民俗芸能「波佐の花田植」を古式にのっとり再現。民具を守る会が後援し、これを記録に納め民俗資料館へパネル展示する。
- 6月20日 「民具だよりNo.1」発行。6月29日 民俗研修会。資料館周辺の草刈清掃。
- 6月22日 大阪市より団体 188 名民俗資料館へ来館。会員 4 名が説明案内にあたる。
- 6月29日 研修会。資料館周辺の清掃作業。
- 7月20日 「民具だよりNo.2」発行。
- 7月28日 民俗研修旅行（萩市文化財施設、阿武川歴史民俗資料館、津和野町文化財施設）。
- 8月 7日～8日 山陰民俗学会へ 3 名出席。会員の隅田が「石見山間部の紙漉き用具について」研究発表する。
- 8月29日 第2回夏季文化財講座「氏神信仰と神楽について」講師：文学博士 石塚尊俊氏。文化財觀賞「波佐神楽」（扇ノ口、座輪、鐘爐）開催する。受講者 60 名。
- 10月 1日 ガシン儀の神は発芽能力を失っていると断定する。
- 10月 8日 幸いにも「オオビエ」の穂 4 本を会員の一人が三栄地区から発見する。
- 10月 9日～11日 日本民具学会・民具研究講座へ会員 1 名出席。
- 11月 3日 民俗資料館会館 3 周年記念。
- 12月12日 研修会。

昭和52年(1977年)

- 1月10日 大麻栽培について合庁へ出張する。
- 1月16日 役員会開催。
- 1月29日 第9回定期総会。資料館の防火訓練実施。
- 2月 6日 研修会。(実践民俗学第6弾「麻蒸し作業」)
- 2月16日 「ふるさと運動」座談会出席。



唐臼風き作業



大麻の「麻蒸し作業」

- 3月15日 「大麻取扱者免許申請書」を島根県知事に申請する。栽培地は波佐イ518番地、会員の上田房一氏の畑396㎡を借上。
- 4月2日 島根県知事より「大麻栽培者免許証」がおこる。
- 4月9日 研修会(大麻の栽培計画について、年中行事について、研修旅行など)。
- 4月22日 町教委との打合せ会。
- 4月23日 佐竹操氏との打ち合せのため教育長に同行。
- 5月2日 たたら蔵打合せ会(現地)。5月6日 たたら蔵打合せ会(浜田市)。
- 5月7日 たたら蔵打ち合せ会(現地・業者)
- 5月15日 金城町歴史民俗資料館(たたら蔵)の改修計画書を作成する。
- 5月21日 実践民俗学第6弾「麻の栽培」と「麻蒸し」実施(床作り、種まき、草取り、間引き、追肥などの管理を継続)。
- 6月4日 本会が金城町長より合併20周年記念式典で「感謝状」受ける。麻栽培・麻蒸し作業再現。
- 7月4日 文化庁より半沢技官来町(県教委から長谷川係長同行、町教委、本会との打合せ会)。
- 8月5日～7日 5日に資材集め、6日に大麻の収穫、7日に「麻蒸し作業」を実施する。大麻収穫数量10,500本、荒麻65Kg。
- 8月16日 役員会。
- 8月21日 第3回文化財講座「月山富田城と尼子経久」講師 妹尾豊三郎氏。広瀬町の史跡見学。
- 9月27日 研修会(たたら蔵の件で協議)。
- 11月27日 たたら蔵より仮収蔵庫へ民具の移転作業。研修会開催。
- 12月22日～23日 民俗資料館展示ケースのガラス清掃。

昭和53年(1978年)

- 1月21日 第10回定期総会。
- 1月26日 文化財防火デー(消火施設の点検)。
- 3月31日 歴史民俗資料館改修工事終了。
- 5月21日 安来市和嶺記念館へ出張(3名)。
- 5月28日 笠松峠の畳石路草刈清掃(10名)。
- 6月8日 資料館周辺の清掃。
- 6月23日 歴史民俗資料館の清掃。
- 6月24日 歴史民俗資料館の竣工式。
- 6月25日 古文書の収蔵(持込)。
- 7月15日 展示資料の移転(搬入作業)。
- 7月19日 展示資料の移転(搬入作業)。
- 7月20日 展示資料の移転(搬入作業)。



笠松峠の畳石路の草刈り作業



麻の収穫作業(抜取り)

麻蒸し前の作業

「麻蒸し」作業

8月27日 山陰民俗学会へ出席。

10月12日～11月2日 歴史民俗資料館の展示作業(夜間毎日)。

実践民俗学第7弾「二丁籠たたら」の構築(10月15日・10月23日の日中)。

11月1日 佐竹操氏へ歴史館再委託。

11月 3日 金城町歴史民俗資料館オープン。たたら資料の展示。

11月11日 民具を守る会結成10周年記念事業、第4回文化財講座「郷土研究と文化財について」
講師 文化庁 天野武技官。

11月20日 町条例改正により入館料改訂。

12月24日 町消防団による資料館の防火査察。



金城歴史民俗資料館

昭和54年(1979年)

1月25日 役員会。文化財の防火点検パトロール。

1月28日 館庭の植栽樹のカイガラ虫の防除。

2月 4日 第11回定期総会。

2月25日 パンフレットの割付作業。

3月24日 文化財指定書交換。

4月20日 パンフレット完成。資料館の温湿度管理のため除湿器購入

5月 6日 町政要覧作成のため資料館へ写真撮影。

5月 9日 館庭の舗装工事。

6月10日 民具収納。

6月24日 PR 看板作成。

7月 2日 土師器修正作業。

7月22日 津和野路へ民俗研修旅行(津和野城、鷲原八幡宮、亀井家別邸など)。

7月29日 資料館庭草刈り清掃。

8月1日～5日 看板作成。

8月19日 山陰民俗学会総会へ出席。

8月25日 那賀郡町村議会議員研修一行80名が民俗資料館見学。

8月26日 第5回文化財講座「波佐の史跡めぐり」を実施。

10月 8日 町内小学校3年生55名が資料館見学。

11月 3日 資料館パンフレットの企画・作成。

11月17日 浜田市文化財愛護会一行が資料館見学。

12月 9日 資料館の大掃除。

12月18日 収蔵品の火縄銃を浜田警察署で登録。

12月20日 島根県教育委員会より「銃砲刀剣類登録証」島根県第26763号を交付される。

1月26日 第26回文化財防火デーにちなみ、地元消防団員と本会共同で消防防火訓練(放水試験)を



館内復元「二丁籠たたら」



金城町より感謝状受賞



県指定天然記念物「常磐の大杉」

実施する。第12回定期総会。

6月18日 金城中学校2年生60名が資料館へ見学。

10月25日 「早稲つき再現記録」作成。

11月 3日 第6回文化財講座「世界の屋根ラマの都を訪ねて」講師 NHK 大阪報道局上野克二氏。

11月15日 金城・広瀬ふるさと交換&研修会一行が資料館見学。

11月30日 奥出雲方面民俗研修旅行(27名)。

昭和56年(1981年)

1月20日 役員会。

1月26日 消防放水訓練・防火点検実施。

1月31日 第13回定期総会。

3月21日 民俗資料館の民具一部展示替え作業。

4月 1日 民俗資料館等委託契約。

5月下旬 たたら跡の図面調査実施。

6月27日 資料館周辺の清掃。

8月 2日 資料館庭の草刈作業。

8月 9日 山陰民俗学会へ隅田事務局長出席。

9月 6日 民俗伝統習俗の記録作成事業、実践民俗学第8弾「早稲揚き」作業。波佐スポーツ少年団を招待。

11月10日 歴史民俗資料館へパネル展示する。

11月15日 金城町・広瀬町青年団一行資料館見学。

12月19日 第7回文化財講座・民俗伝統芸能の記録作成。波佐神楽「岩戸」(波佐常磐倶楽部協力)ビデオテープ収録。

12月20日 民俗研修旅行(日原町民俗資料館、津和野町方面)。



チベット巡礼探検家・能海克資料展示

昭和57年(1982年)

1月20日 役員会。

1月30日 文化財防火デーにちなみ消防放水訓練・消火器等の点検実施。第14回定期総会。

2月20日 歴史民俗資料館の清掃作業。

3月13日 歴史民俗資料館の一部展示替え。

4月 1日 民俗資料館等の委託契約。

4月22日 資料館へピンク電話の設置。

6月 3日 資料館周辺の草刈作業。

6月22日 町内小学校連合3年生82名、引率者15名資料館見学のため来館。



笠松峠の養石路

早稲揚き(小学生)

早稲揚き(4人揚き)

- 7月 1日 町教職員一行資料館見学。
- 8月 1日 山陰民俗学会出席(会長・事務局)。資料館周辺の清掃。
- 8月 5日 文化財案内標柱建立(8箇所)。
- 9月12日 館内案内テープ(8トラ)作成。
- 9月26日 資料館周辺の清掃。
- 11月 3日 資料館会館9周年。波佐文化祭で「町内の埋蔵文化財展」を出展。
- 11月20日 出前展「ぶっぼうそう展」～能海寛特別展～益田市西平原町、草香舎で28日まで。
- 11月28日 大石内蔵助文書の鑑定(赤穂市へ照会)。
- 11月28日～12月4日 金城町内出土の埋蔵文化財の図表化作業実施。
- 12月 9日 第8回文化財講座「島根県下の埋蔵文化財について」講師 県教委文化課柳浦俊一氏。

昭和58年(1983年)

- 1月21日 役員会開催。1月29日 第15回定期総会。民俗資料館防火点検実施。
- 3月 2日 弥栄村安城小学校34名来館。
- 4月1日 「金城の文化財」第1号発行。
- 4月 4日 久佐年金友の会25名来館。
- 4月10日 民俗研修会(波佐一本松城学術調査)開催。
- 4月15日 「金城の文化財」第1号(波佐一本松城の学術調査の実施について)発行。
- 4月22日 城郭やぶ刈り払い作業(10名)。
- 4月24日 城郭周辺の水準点測量(4名)。
- 4月26日 本丸の平板測量・刈り払い(6名)。
- 4月29日 本丸周辺の竪畝形阻塞の平板測量(8名)。
- 5月 4日 波佐一本松城学術調査。第9回文化財講座「中世城郭の共通点」
講師・奈良女子大助教授村田修三氏。
- 5月30日 たたら蔵進入路舗装工事完成。
- 6月 8日 波佐小学校(30名)社会科学学習のため来館。6月15日 雲城小学校(55名)。6月24日 今福・美又小学校(35名)来館。
- 7月10日 波佐・雲城小学校(60名)来館。町内のたたら跡調査・史跡調査依頼。
- 8月 2日 資料館庭清掃。10月2日 資料館庭清掃。
- 10月27日 波佐小学校4年生図工科学習のため7名来館。
- 10月30日 町内出土品の修復作業完了。『金城の文化財』第1集発刊(町教委)。
- 12月10日 役員会。
- 12月30日 波佐の観光案内図看板作成。笠松峠畳石路町文化財(史跡)指定。



図14 波佐一本松城略図

波佐一本松城平板測量図



村田修三氏講演「中世城郭の共通点」

昭和59年(1984年)

- 1月26日 両資料館の防災点検実施。第16回定期総会。事務局長交代（隅田正三⇒岡本利道）、隅田は事業部長となる。役員状況、会長：一町仁市。副会長：上山均。監事：塚本貞義、上山信人。幹事長：関本益夫。幹事：古田安五郎、岩田正喜。調査研究部長：上田房一。同副部長：佐田達雄。事業部長：隅田正三。同副部長：加納昭則。事務局長：岡本利道。事務局次長：隅田哲夫。
- 2月 5日 桜江町甘南備寺文化財の視察。
- 3月 2日 岩塚Ⅱ遺跡現地説明会（県・町教委主催）参加。4月4日 山陰放送テレビ取材。
- 4月 6日 役員会。
- 4月14日 山陰放送テレビ取材。
- 4月22日 波佐一本松城学術調査（東側踏査）。研修会。
- 4月29日 城郭（二の丸付近）平板測量。北側踏査。
- 6月 9日 波佐運動公園用地遺跡表面調査。
- 6月10日 城郭北側伐開作業。6月24日 城郭北側伐開、平板測量。
- 7月 1日 山陰放送テレビ放映。
- 7月 8日 文化財研修旅行事前学習会。映画「奈良の都」、「飛鳥文化」、「聖徳太子と飛鳥文化」視聴。
- 7月13日～7月15日 奈良県明日香村を中心に文化財探訪旅行実施。第10回文化財講座（現地学習会）講師：国立奈良博物館、文部技官前島巳基先生。
- 7月18日 仏像神像調査（県立博物館、釣野学芸員）。
- 8月 5日 資料館盗清掃。
- 10月31日～11月2日 波佐一本松城学術基礎調査、平面図・断面図及び調査概要のパネル作成。
- 11月 3日 波佐文化祭で「パネル展」出展。
- 12月 1日 笠松峠の畳石清掃作業実施。



一本松城平板測量の様相

昭和60年(1985年)

- 1月20日 資料館の防火点検実施。役員会開催。
- 1月26日 第17回定期総会開催。
- 2月17日～20日 かなぎ和紙の里産業組合へ「紙造き写真パネル」貸出。
- 4月 6日 役員会で一本松城の学術調査打合せ。
- 4月25日・5月9日 文化財分布調査打合せ会。
- 5月27日 第11回文化財講座。午前中、奈良女子大・村田修三教授一本松城跡を踏査。午後、埋蔵文化財分布調査指導会。
- 5月29日 波佐一本松城周辺伐開作業。
- 6月～9月 波佐・長田地区埋蔵文化財分布調査参加。
- 10月～12月 長田郷遺跡調査参加。



波佐一本松城見学会



城山キャンプ場で小休止



明日香村へ探訪旅行（甘樫の丘）

昭和61年(1986年)

- 1月11日 役員会。資料館防災点検。長田郷遺跡地元説明会。
- 1月25日 第18回定期総会。
- 2月 2日 資料館へスライドテレビ設置。
- 2月22日 文化財調査指導会。村田修三先生現地踏査実施。
- 3月31日 遺跡分布調査報告書Ⅰ(波佐・長田地区)刊行。
- 5月 8日 エクス和紙の館建設予定地から土器出土。
- 5月30日 雲城小学校45名資料館見学。6月3日 町内5小学校44名資料館見学。
- 6月 7日 役員会。
- 6月 9日～19日 七渡瀬遺跡調査参加。6月25日 61年度文化財分布調査指導会。
- 7月 9日～10日 県東部文化財研修旅行(大念寺古墳・荒神谷遺跡・古曾志大谷古墳・県立博物館・神魂神社・風土記の丘資料館・安部栄四郎記念館・糸原記念館など)。
- 7月 9日 第12回文化財講座「島根の文化財、今！」県文化課蓮岡法章氏。
- 10月19日 笠松峠壘石路草刈清掃作業。10月21日 教育事務所より資料館視察。
- 11月 3日 第13回波佐文化祭で「長田郷遺跡出土品展」開催。
- 12月19日 県教委資料館視察。

昭和62年(1987年)

- 1月20日 役員会。資料館防災点検。
- 1月24日 第19回定期総会。
- 3月11日 遺跡分布調査、整理分類作業。
- 3月25日 『遺跡分布調査Ⅱ』刊行(町教委)。
- 3月26日 能海寛テレビ放映「中国大秘境」(フジテレビ系)。
- 4月29日 役員会。資料館周辺草刈清掃。
- 5月10日 「文化財と町づくりを考える会」(松江市)結成大会参加
- 5月11日 水見城調査。5月16日 水見城調査、伐開。
- 5月18日 第13回文化財講座。水見城調査、伐開、的場先生調査。
- 5月中旬 笠松峠壘石路伐開。6月下旬 波佐一本松城、地権者関係資料作成。
- 7月 6日 歴史資料館の修理見積を町教委へ提出。7月28日 役員会。資料館周辺草刈清掃。
- 8月27日 県文化課松本岩夫氏八幡岩遺跡踏査。歴史資料館の考古資料の展示指導を受ける。
- 9月 4日 波佐一本松城、地権者説明会開催。
- 11月1日 役員会。資料館周辺草刈清掃。
- 11月17日 研修旅行事前学習会実施。
- 11月21日～23日 九州北部文化財探訪研修旅行(国東半島、宇佐神宮、宇佐風土記の丘資料館、羅漢寺、大宰府天満宮、福岡市立歴史資料館など)。



一本松城跡現地踏査



七渡瀬Ⅱ遺跡出土品

遺跡調査の責任者田中義昭氏(中央)

七渡瀬Ⅱ遺跡の発掘現場

12月 8日 文化庁より資料館視察。12月18日「波佐一本松城跡及び関連遺跡」町指定史跡となる。

昭和63年(1988年)

1月17日 役員会。資料館防火点検。

1月24日 第20回定期総会。

2月 7日 民俗聞き取り調査(トロヘイについて)

実践民俗学第9弾・「トロヘイ」作成・水口備助氏。

2月26日 特別企画展について役員会開催。

4月14日 特別展について町教委と打合せ会。

4月24日～ 歴史民俗資料館「特別展」準備に入る。

5月 1日「能海寛、生誕120年特別展」(チベット語大蔵経典、仏典、仏具、著書、手紙、日記、研究ノート、遺書、愛用の尺八、印鑑、旅行許可証、出納帳、参考書籍類、チベットの写真70点=NHK、上野克二氏提供)を開催。

5月 6日「特別展」をNHKテレビ放映。

6月6日 役員会。

6月29日 役員会。

7月25日～26日 一町会長、浜田教育センター(県美術教員研修)へ講師派遣。

7月26日 大谷大学図書館より能海寛資料調査のため来館。

8月17日～8月31日 八幡岩遺跡発掘調査。

10月2日 笠松峠畳石路清掃・整備。

10月30日 後山祭の民俗調査実施。

11月1日 資料館周辺の草刈清掃。

11月 1日 第二次「能海寛生誕120年特別展」(池田一憲画伯寄贈の5点。中国雲南・四川省のパネル写真35点、アオイスタジオ資料提供)を開催。

11月28日 池田一憲氏より歴史民俗資料館(町)へ絵画5点を寄贈される。

12月 4日 第14回文化財講座。山陰民俗学会石見地区懇談会(エクス和紙の館)開催。

平成元年(1989年)

1月23日 役員会。資料館防火点検。1月28日 第21回定期総会。

3月31日 常盤のカシ林「みんなで守る郷土の自然地域・県指定」に決定。4月7日 役員会。

6月29日 役員会。7月8日「三宅御土居跡を守る会」発足、県下10文化財保護団体。

7月 9日 資料館草刈清掃。7月25日 波佐一本松城跡及び才の峠～新井屋原路の草刈り、笠松峠畳石路整備・清掃。

9月 3日「よみがえれ中世益田」史跡見学会と講演会(村田修三氏、西垣春治氏)へ参加。

10月 1日 資料館周辺草刈清掃。



トロヘイの伝承者・水口備助氏



トロヘイ(藁製品)

11月1日 第15回文化財講座。風土記の丘移動展「古代の島根と石見の歴史展」旭町開発センターで(縄文=長田郷、岩塚Ⅱ・古墳=金田Ⅰ、下長屋の遺跡遺物) 会員が見学参加。

11月 5日 「歴史のまちづくりシンポジウム」石川県民文化会館へ会員が参加。

平成2年(1990年)

1月 8日 「求道の師 能海寛」 隅田正三著、出版を祝う会開催。

1月15日 第16回文化財講座「求道の師・能海寛」出版記念講演会。

2月 8日～22日 民俗聞き取り調査。(常盤山のカシ林看板設置)。

4月13日 第22回定期総会。

5月17日 役員会。資料館周辺の草刈清掃。

6月24日 役員会開催。7月11日 役員会。民俗研修旅行事前学習会。

7月13日～16日 北信濃・上信越「抱月」ゆかりの人物探訪旅行(善光寺・川中島古戦場・市立博物館・林正寺・小林家・中山晋平記念館・野尻湖・相馬御風記念館など)。

7月22日 資料館周辺草刈清掃。

9月10日 抱月関係合同会議。9月11日 役員会。

9月17日 カチューシャ交流合同会議。

10月 5日～8日 早稲田大学、演劇記念館へ抱月資料調査のため上京(隅田)。

10月11日 役員会(島村抱月生誕120年特別展について)。

10月20日～ 特別展準備。

11月 3日 「島村抱月生誕120年特別展」開催。①系図・略歴(おいたち、青年期、早稲田大学教授時代、外国留学時代、演劇活動時代)。②地方公演順路略図。③翻訳、演出をした演劇タイトル一覧。④著作一覧。⑤影響を受け合い、交流のあった人たち(写真と略歴)。⑥写真・遺品・肉筆。⑦VTR。



中村元先生から能海寛記念館
実現の期待を込めた書中要書

平成3年(1991年)

1月 6日 小国抱月生誕地顕彰会が歴史民俗資料館見学。13日 役員会。

1月26日 第23回定期総会。防災訓練実施。

2月 9日 第17回文化財講座。「古代王墓千年比丘」講師:島根大学・田中義昭教授。

2月20日 千年比丘測量調査8名参加。

4月13日 中国・真如鎮有効親善訪問団一行、資料館見学。

4月27日 抱月生誕地顕彰碑除幕。

6月13日～14日 町内の6小学校の3年生資料館見学。

7月 7日 千年比丘古墳群、測量・試掘(2号墳)調査開始。伐開範囲のテープ張り。13日 役員会で調査内容周知。16日 伐開。17日 伐開木の片付け。22日 平板測量の基準点測量。29日 現地調査事前説明会開催。



千年比丘一号墳

千年比丘一号墳発掘現場

積雪の中で訪防大訓練実施

- 8月 6日～12日 現地測量・試掘調査。10日 学習会。11日 調査現地説明会開催。
 9月16日 『島村抱月生誕120年特別展』を閉展し展示替え。『千年比丘古墳群測量図及び考古資料展』
 9月22日～23日 「真田まつり」長野市、「カチューシャの唄」知音都市交流展へ抱月関係資料の貸出。
 11月 4日 笠松峠の壘石路の草刈り清掃作業実施。
 11月22日 県農林水産部長資料館見学。

平成4年(1992年)

- 1月25日 役員会。資料館防災点検。
 2月 1日 第24回定期総会。
 2月末～「七渡瀬Ⅱ遺跡調査」協議。
 3月 9日 試掘位置決定。土層確認。調査スタート。
 3月15日 遺物包含層確認。遺構圍柵除。
 3月17日 県教委内田氏来町。
 3月22日 土層断面図作成。
 4月 2日 第18回文化財講座。島根大学田中義昭教授来町。
 4月11日 現地説明会。夜・地元説明会開催
 4月末日 春季調査終了。
 5月17日 資料館周辺草刈清掃。
 5月31日 抱月文学碑除幕。
 6月 2日 小中学校新任教員が資料館見学。
 6月 6日 夏季遺跡調査現地打合せ会開催。
 6月中旬 笠松峠壘石路、防災ダム設置に伴う整備について協議。
 6月22日 町内6小学校の3年生資料館見学。
 7月11日 千年比丘古墳調査事前説明会。草刈作業。
 7月14日 町校長会・教頭会「波佐の文化財」現地研修会。7月19日 資料館周辺草刈清掃。
 7月20日～8月11日 千年比丘古墳夏季発掘調査開始。
 7月27日波佐小学校資料館現地見学会。
 9月17日 町誌編纂委員資料館見学。9月18日 県文化課、調査方法の協議。
 10月 2日 浜田教育事務所社会教育班「波佐の文化財」視察。
 10月15日 広島大学へ七渡瀬Ⅱ遺跡調査協力依頼。
 11月 3日 第19回波佐文化祭で「七渡瀬Ⅱ遺跡・千年比丘古墳調査の概報」を展示する。
 11月 7日 長野市民の会訪問団、歴史民俗資料館見学会案内。
 11月11日 七渡瀬Ⅱ遺跡夏季調査区埋め戻し作業。
 11月12日～12月12日 西側グリッド石列部分重点調査（広大・竹広文明氏）試掘調査・千年比丘古



抱月生誕120年展テープカット



七渡瀬Ⅱ遺跡全景

大森神社から稲田へ向かう宮道跡

歴史民俗資料館への来館者

墳群(1・2号墳)調査。(抱月文学碑除幕)。

平成5年(1993年)

- 1月 8日 日本海テレビ資料館の取材。1月25日 役員会。
1月30日 第25回定期総会。資料館防災点検実施。
3月 9日 七渡瀬Ⅱ遺跡発掘調査(継続)開始。
3月22日 七渡瀬Ⅱ遺跡調査スタート、県文化課来町(石列のチェック、ときわ会館建築場所の表面採集)。
4月19日 「県内城郭調査について」金城町調査員岡田正三。
4月27日 七渡瀬Ⅱ遺跡の調査内容の協議、鳥根大学田中義昭教授。
5月11日 調査内容協議、遺跡の保存標高について。
5月23日 調査内容協議、鳥根大学田中義昭教授。
5月24日 資料館の電気点検。
5月25日 波佐小学校3・4年生発掘体験。
5月26日 遺構測量作業スタート。波佐小学校3、4年生発掘体験。
6月23日 遺跡現地調査終了説明会開催。
6月23日～24日 町内小学校3年生資料館見学。
4月19日 「県内城郭調査」金城町調査員に会員の岡田正三氏があたる。
5月24日 資料館電気点検。6月3日 波佐小学校3・4年生資料館見学。6月10日 波佐小学校5・6年生資料館見学。
6月22・23日町内小学校3年生70名資料館見学。
7月 6日 小中学校新着任教員30名資料館見学。
7月24日 出雲方面視察研修旅行。
8月 7日～18日 千年比丘古墳群継続調査(1号墳墳端確認)、南部発掘。
8月12日 広島テレビ資料館取材。
10月2日～11月7日 「河口慧海展」堺市博物館へ能海寛資料出展。
11月27日 県埋蔵文化財センター講演会「石見の戦国時代」会員が参加。
12月12日 波佐多目的集会所施設「ときわ会館」竣工。
12月12日 第20回文化財講座・講演会「七渡瀬Ⅱ遺跡について」鳥根大学田中義昭教授。

平成6年(1994年)

- 1月20日 役員会。資料館点検。
1月29日 第26回定期総会。資料館の防火訓練。
2月 7日 みとやの民具編纂委員、三刀屋町教委一行10名が資料館見学。
3月30日 役員会。3月31日 町教委と打合せ協議。



波佐の山村生活用具(鳥根県指定・221点)飲食用具、調理・調整用具

- 5月22日 研修会(資料館管理・研修旅行)。
 6月23日・7月8日 町内小学校3年生資料館見学。
 7月 2日～3日 鳥根県東部・鳥取県西部民俗研修旅行(14名)実施(大森銀山、出雲文化伝承館、
 斐川荒神谷遺跡、玉作史跡公園、風土記の丘資料館、和銅博物館、上淀庵寺跡、伯耆古代の丘資料
 館、倉吉博物館、倉吉歴史民俗資料館など)。
 7月 8日 町内小学校3年生(今福・美又・波佐・小国)40名が資料館見学。
 7月15日 小国公民館一行が資料館見学。
 9月 6日 下米原老人クラブ一行37名が資料館見学。
 9月8日 町長・県職員一行が資料館見学。消防査察点検。
 10月11日 県教職員互助会一行69名が資料館見学。
 10月22日 今福婦人学級一行25名が資料館見学。
 10月29日 資料館大掃除。
 11月 1日 国際短大生一行が資料館見学。11月12日 美又老人クラブ一行が資料館見学。
 11月22日 モンゴル留学生一行が資料館見学。
 12月 1日～2日 鳥根県歴史民俗資料館協議会総会、研修会で民具を守る会活動を会員の隅田正三
 が発表する。参加者30名が資料館見学。12月2日 宮崎県山の口村議一行が資料館見学。

平成7年(1995年)

- 1月22日 役員会。「能海寛研究会」発足支援。
 1月28日 第27回定期総会。資料館防火訓練実施。
 2月24日 波佐小学校34年生(15名)社会科学習で民具見学。
 3月31日 資料館入口扉修理、除湿器追加設置。
 4月 3日 電気保安検査。
 4月23日 史跡「笠松峠畳石路」の埋没出現作業。
 5月23日 史跡「波佐一本松城跡」城郭調査。
 6月 2日 町内小中学校新任教諭(16名)資料館見学。
 6月20日 町内小学校3年生(今福・美又・久佐・波佐・小国)50名資料館見学。
 6月25日 奥石見歴史街道探訪会(全国余暇生活開発研究会一行)笠松峠畳石路視察。
 7月16日 第21回文化講座「チベットを目指した最初の日本人」講師・江本嘉伸氏。
 7月19日 江津市愛真高校25名資料館見学。
 7月23日 資料館周辺草刈、清掃。
 9月27日 那賀郡校長会20名見学。
 10月 8日 資料館周辺草刈。
 10月14日 史跡「笠松峠畳石路」の埋没出現作業。
 12月25日 歴史資料館看板設置。



能海寛・高村抱月資料展示



笠松峠の畳石路

草刈り後の畳石路

鍛冶屋道具にふれあい体験

平成8年(1996年)

- 1月17日 資料館展示整備要望書提出。1月18日 役員会。
1月22日 畳石路保全要望書提出。
1月26日 資料館防火訓練実施。第28回定期総会。
3月 4日 金城町議会へ「能海寛記念館」建設を陳情。
4月20日 笠松峠の畳石路清掃作業。
4月21日 資料館展示整備の内容協議。
5月18日 研修会。展示資料、写真の収集について。
6月20日 町内雲城小学校3年生35名資料館見学。
6月26日 町内小学校3年生(今福・久佐・波佐)32名が資料館見学。
6月28日 金城町議会から「能海寛記念館」の採択の通知書を頂く。
7月 2日 町内新任小・中学校教職員20名資料館見学。
7月14日 第22回文化講座「石見の能海寛と堺の河口慧海」講師・村上護氏。
8月10日 資料館周辺の草刈清掃。
9月 8日 能海寛研究会研修旅行協賛。
9月13日 資料館展示コーナー清掃。
9月17日 展示方法についてチェック。民俗資料館=展示カードの更新、写真掲示。歴史民俗資料館=七渡瀬Ⅱ遺跡パネル、たたら関係、郷土史年表掲示替え。
10月 5日～7日 日本民俗学会・島根大会(浜田市・島根県立国際短期大学)。
10月 7日 日本民俗学会参加者一行33名が資料館見学。
11月 3日 長野県松代町訪問団一行が歴史民俗資料館見学。
11月26日 金城町まちづくり町民懇談会一行が資料館見学。

平成9年(1997年)

- 1月24日 資料館消防査察。
3月11日 波佐小学校16名資料館見学。
4月16日 波佐小学校5・6年生24名社会科学習で資料館見学。
4月17日 歴史資料館テレビ取材(TSK)。
4月20日 第29回定期総会。
5月18日 資料館周辺草刈。5月25日「波佐大花田植」を後援する。
6月 8日 山口県立美術館、天空の秘法「チベット密教美術展」、民俗研修旅行(17名)実施。
7月 1日 雲城小学校40名資料館見学。
7月 3日 今福・美又・小国小学校36名資料館見学。



知春都市交流で長野市民の皆さん



中野市民訪問団の皆さん



日本民俗学会一行の皆さん



日本民俗学会年会懇親会での田嶋子と常磐山人轡宮での神楽鑑賞

- 7月 8日 金城町新着任教諭22名資料館見学。
- 7月10日～7月13日 笠松峠曇石路清掃作業。
- 7月20日 第23回文化講座「能海寛が消えた横断山脈」講師 中村保氏。
- 8月23日～24日 石見郷土研究懇話会年次大会（美又温泉）会員参加。24日 金城町資料館見学。
- 11月 1日 歴史資料館NHKテレビ取材。
- 10月 1日 浜田教育事務所管内社会教育班会13名資料館視察。
- 10月18日 加計高校芸北分校地域研究クラブ資料館を見学。

平成10年(1998年)

- 1月12日 島村抱月関係取材のため町商工観光課より歴史民俗資料館へ来館。
- 1月17日 役員会。
- 1月25日 資料館消防査察。第30回定期総会。
- 2月22日～2月28日 特別展準備。
- 3月 1日～特別企画展「能海寛チベット送途100年・生誕130年」実施。
- 3月 1日～2日 新聞社取材。3月6日 テレビ取材(13日放映)。
- 3月 7日～15日 写真展「地平線発」後援。
- 3月 7日 第24回文化講座「日本人の旅と冒険」講師：江本嘉伸氏。
- 4月13日 NHK鳥根ろくまる丸「能海寛特別展」テレビ放映。
- 5月17日 資料館周辺草刈清掃。
- 6月11日 波佐・久佐小学校26名資料館見学。
- 6月12日 雲城小学校31名資料館見学。
- 7月12日 能海寛生誕130年記念「冒険フォーラム」後援。
- 7月23日 文部省職員研修で資料館を視察。
- 7月26日 中国上海真如鎮訪問団資料館を見学。



平成11年(1999年)

- 1月25日 資料館消防査察。
- 3月25日～31日 波佐一本松城及び関連遺跡、水道施設設置に関して現地調査。
- 5月15日 「能海寛彫塑像」除幕式。5月23日 資料館周辺草刈清掃。
- 6月 3日 町内新着任教員資料館視察。
- 6月 4日 那賀郡校長会研修会で資料館見学。
- 6月 7日 県内高等学校登山部一行が能海寛特別展見学。
- 6月10日 小国・美又・今福小学校42名資料館見学。
- 6月11日 雲城小学校38名資料館見学。
- 7月18日 第25回文化講座「能海寛と明治仏教理念と現実」講師・白須浄真氏。



日本人の旅と冒険フォーラム

能海寛の像(彫塑)完成

「世界の冒険写真展」ときわ会館

- 8月23日～24日 両資料館ガス漏じょうのため休館。
- 8月29日 第31回定期総会。
- 12月11日～12日 鳥根県東部・鳥取西部研修旅行。
- 12月11日 第24回文化財講座「文化財行政に携わって」講師・石塚尊俊氏。
- 12月11日～12日 鳥根東部・鳥取西部研修旅行(文化財調査センター・伯耆古代の丘資料館など)。

平成12年(2000年)

- 1月24日 資料館防火査察。
- 3月 2日～3日 歴史資料館漏じょう作業。
- 3月～歴史資料館屋根・壁修繕工事。
- 4月 1日 第32回定期総会。二代目会長に上山均、副会長に隅田正三が就任する。
初代会長一町仁市は顧問に就任。一町仁市氏へ感謝状贈呈。
- 7月16日 第26回文化講座「還日本海交流で未来を拓く」講師・内藤正中氏。
- 8月22日 笠松峠畳石路の立石転倒修復作業。
- 12月22日 笠松峠畳石路埋没部分出現作業。



石塚尊俊氏を囲んで 1999.12.11

平成13年(2001年)

- 1月25日 文化財防火デー、資料館防火査察。
- 1月28日 第33回定期総会。
- 3月16日 資料館事務室改修。4月24日 倉庫室改修。
- 7月 4日 資料館ガス漏じょう。
- 8月 1日 一町前会長が教育文化功労者で受賞。
- 8月 3日 中国・銀川一中一行歴史民俗資料館見学。
- 11月18日 第27回文化講座「能海寛と四川の100年後」講師・飯塚勝重氏。

平成14年(2002年)

- 2月 2日 第34回定期総会。
- 4月14日 資料館周辺整備、手洗鉢設置。
- 6月 6日 役員会。
- 7月17日 第28回文化財講座「文化財と町おこし」講師・隅田副会長。
- 11月～(民俗資料館屋根修繕工事)。(常盤の大杉看板改修)。

平成15年(2003年)

- 2月 4日 役員会。
- 2月11日 第35回定期総会。5月28日 役員会。



氏具を守る会定期総会の模様



国指定・仕事室コーナー

6月20日～22日 紀伊半島民俗研修旅行(紀伊風土記の丘資料館、和歌山城、高野山、熊野古道、南方熊楠記念館、御坊市歴史民俗資料館など)。

7月13日 第29回文化財講座「能海寛の子ベツ観」講師・高本康子氏。

7月23日 教育委員会へ施設管理などで要望書提出。

8月 2日 笠松峠の畳石路草刈り清掃。民具倉庫清掃。研修会「波佐の文化財保護対策について」講師・隅田正三氏。

10月 国道沿い案内大三角柱、更新設置(町教委)。

11月 3日 波佐文化祭で「波佐の郷土史年表」展示。

11月15日 資料館防虫熏浄処理。

12月 4日 役員会。

12月 資料館玄関下部の排水路設置。



100Kmトレイル遠足・全国28県から参加

平成16年(2004年)

1月25日 文化財防火デー防火点検。第36回定期総会。

2月29日 お地蔵さん等の調査・写真撮影。

4月～ 資料館管理研修会実施。5月6日 資料館前の看板の改修(文字の刻影)。

7月4日 役員会(民具の全点調査について)。

7月 7日～ 民具全点 調査開始。

7月19日 第30回文化講座「西域探検の世紀と能海寛」講師・金子民雄氏。

7月31日 町指定史跡「笠松峠の畳石路」草刈清掃作業。

10月 民具仮借用倉庫清掃・三浦哲夫氏へ返却。

10月23日 「第1回能海寛ふるさと100Kmトレイル遠足」支援。



鍋滝の金屋子神社と大カツラ

平成17年(2005年)

2月 5日 第37回定期総会。

6月30日 役員会開催。

7月10日 第31回文化財講座「ふるさと学習・たたら」講師・隅田会長。

7月16日・8月31日 町指定史跡「笠松峠の畳石路」草刈清掃。

8月20日～21日 播磨路民俗研修旅行(姫路城、柳田国男記念館など)。

8月27日 波佐公民館主催「ふるさと学習支援(講師派遣・隅田正三) たたら跡を訪ねる～歴史民俗資料館～鍋滝たたら～泊小屋、鉄穴場～橋下たたら、鍋滝金屋子神社、桂の樹を巡る現地学習。

11月上旬 資料館事務室の内装改修。

10月22日 「第2回能海寛ふるさと100Kmトレイル遠足」支援。

11月～ 鳥根県ミュージアム協議会とタイアップして「民具カード100選」の作成を支援するため、民俗資料館所蔵の民具資料の写真撮影。



民具を守る会総会

文化財防火デー消防・防火訓練実施

「いろりの間」で幸福・久後小学校児童

平成18年(2006年)

- 1月26日 今福・久佐小学校3年生民俗資料館見学。
- 1月28日 役員会。
- 2月 4日 第38回定期総会。三代目会長に隅田正三、副会長に奥本武友が就任する。
上山均前会長は顧問に就任となる。事務局長交替(岡本利道⇒酒井金寿)、岡本は事業部長に就任。
- 3月 9日 波佐小学校へ「民具」の出前授業。
- 4月 1日 指定管理者制度導入により、浜田市金城民俗資料館、浜田市金城歴史民俗資料館2館の管理を民具を守る会が管理運営を受託契約する(3年間契約)。両資料館の館長は民具を守る会の会長が併任する。
- 4月～ 来館者の傷害保険加入。
- 4月 4日 役員会。
- 7月 8日 役員会。
- 7月 9日 第32回文化講座「能海寛の探検の源流を考察する」講師 隅田正三氏。
- 7月10日 資料館便所水道補修工事、除湿器パイプ工事。
- 7月19日 浜田郷土資料館との打合せ会。
- 7月30日 笠松岬の畳石路草刈清掃作業実施。資料館ガラスケース清掃。
- 8月 1日 「かなぎ民俗だより」創刊号発行。(企画展「島村抱月」～幼年期と生い立ち～のPR)。
- 8月 8日 波佐小学校教諭「たたら学習」で歴史民俗資料館と棚下たたら跡で現地学習。
- 8月 1日～9月13日 能海寛資料展示用パネル作成。
- 8月11日 役員会。
- 9月15日 浜田市合併一周年記念・企画展「チベット巡礼探検家能海寛」の出前展示会を浜田郷土資料館で実施。会期は、12月15日まで。
- 9月16日 出前ボランティアガイド講習会へ講師派遣(浜田郷土資料館へ)。
- 9月21日 島根大学相良教授歴史民俗資料館「たたら」学術調査で来館。
- 10月 4日 雲城小学校、歴史民俗資料館で金城の傭人学習。
- 10月 7日・15日 浜田市教育委員会主催「歴史めぐり」で資料館見学。
- 10月12日 文化財研修旅行(石見銀山・埋没林)実施(15名)。
- 10月18日 周布小学校(62名)民俗資料館見学。
- 11月15日 企画展「文豪・島村抱月」(金城歴史民俗資料館)。
- 12月 1日 「島根もっと知りたいミュージアムめぐり」で歴史館、民俗館が掲載される。
- 12月7日 雲城小学校民俗資料館で民具学習。
- 12月15日・18日 波佐小学校へ民俗館より出前授業(たたら学習・能海寛と島村抱月)。
- 12月18日 浜田市浜田郷土資料館企画展の片付け作業。



石見銀山遺跡にて



文化財研修旅行 2006.10.12



企画展「金城の古代・中世展」

平成19年(2007年)

- 2月24日 第39回定期総会。
3月25日 資料館のパンフレット(3,000部)を作成する。
4月 1日 県立古代歴史博物館と相互協定を結ぶ。
来館者用の傷害保険を再契約する。
5月29日 波佐小学校5・6年生(8名)が歴史館へ
「たたら学習」のため見学。



- 6月 3日 資料館草刈清掃。
6月15日 雲城小学校3年生(23名)歴史館へ特別展「島村抱月資料展」を見学。
6月16日 きんたの土曜学校(18名)が歴史館へ「たたら学習」で見学。
6月17日 歴史資料館西側の屋根瓦一部破損を委託修繕する。
7月 3日 役員会(40年記念誌の発刊・畳石の清掃・文化財講演会・特別展企画など)。
7月 4日 北広島町「郷土史研究会」一行が資料館見学。
8月 5日 民俗資料館庭の草刈清掃作業。
8月 8日 「かなぎ民俗だより」第2号発行。(館外活動の「出前学習塾」PR、学芸員の選任など)。
8月25日 「かなぎ民俗だより」第3号発行。(歴史民俗資料館の企画展「金城の古代・中世展」)。
9月 1日 特別企画展「金城の古代・中世展」会期:12月28日まで。歴史民俗資料館へ非常勤学芸員
2名登録(岡崎秀紀氏 = 近代産業遺産、高本康子氏 = 比較文化論・近代日本文化)。「かなぎ民
俗だより」第5号発行。(特別企画展のPR)。

- 9月 5日 「かなぎ民俗だより」第5号発行(民俗資料館常設展のPR)。
9月13日 資料館運営協議会へ会長が出席。
9月30日 笠松峠の畳石路の草刈清掃。資料館内の清掃。
10月 1日 金城民俗資料館へ非常勤学芸員1名登録(北村春香氏 =
民俗学)。「かなぎ民俗だより」第6号発行。



清掃作業を終えて(2007.9.30)

- 10月 5日 浜田市教頭会一行が企画展「金城の古代・中世展」見学。
10月10日 「民具通信」第2号発行。「かなぎ民俗だより」第7号発行。
10月20日 浜田市浜田郷土資料館友の会一行が歴史民俗資料館など見学。
11月 1日 民具を守る会40年記念誌「民具を用いた労働慣行」を発刊。
11月 8日 広島市正念寺(38名)一行、能海寛資料を見学。
11月13日 役員会開催。
11月17日 「民具を守る会40年記念&出版祝賀会」を開催(川根荘)。
11月18日 第33回文化財講座「中世の石見と神社」講師:井上寛司氏
(島根大学名誉教授)ときわ会館で開催。



『民具を用いた労働慣行』出版記念パーティー



会結成40年記念出版物

- 11月28日 出前講座「米紙上納の歴史」、小国公民館へ。
- 11月29日 たたら教育研究会(21名)。パワーポイント講座、金城教育課主催、たたら学習(ときわ会館)。
- 12月15日 研修会(館内のガイド研修3H)。
- 12月16日 雲城小学校4年生、民俗資料館へ民具学習。

平成20年(2008年)

- 1月2日 資料館の除雪作業。
- 1月14日 役員会開催。
- 1月16日 広島あるくみるさくの会から講演要請。「実践民俗学」を提唱して40年」。(西区民センター・隅田会長)
- 1月23日 出前講座「金城の古代・中世」、雲城公民館へ。
- 1月25日 江津市・中村家の古文書を現代に活かす会一行(7名)視察。
- 1月26日 第40回定期総会開催。
- 2月3日 ふるさとフェスティバル(県大)波佐小学校発表支援。
- 3月17日 広島市佐伯区(29名)一行・歴史館見学29名。
- 3月20日 「かなぎ民俗だより」第8号発行。
- 3月26日 BS観光・広陵東組(16名)一行・歴史館見学。
- 4月1日 県立古代出雲歴史博物館と相互協定を継続。
- 4月13日 展示替え作業(隅田、奥本、酒井、稲生)。
- 4月14日 企画展示(隅田、隅田、酒井)。
- 4月15日 生誕140年記念「チベット巡礼探検家『能海寛展』」開催。
「民具通信」第4号発行。
- 4月23日 波佐公民館へ「金城の歴史と民俗」を出前講座。
- 4月25日 「かなぎ民俗だより」第9号発行。
- 5月3日 能海寛歌碑めぐりウォーク協賛支援。
- 5月14日 日光ツーリスト教円寺(39名)一行・能海寛企画展見学。
- 5月27日 民具役員会開催。民俗資料館庭の草刈り作業。
- 5月28日 「危機管理体制組織対応マニュアル」の制定・自衛消防隊結成。
- 6月6日 雲城小学校3年生19名。能海寛生誕140年企画展見学。
- 6月22日 民俗資料館庭の草刈り作業。
- 6月24日 津和野町一行(22名)・能海寛企画展見学。
- 7月3日 波佐・今福小学校3-4年生・能海寛企画展見学。



第33回文化講演会



7月 5日 大麻公民館一行(22名)・能海寛企画展見学。

広島県立歴史博物館へ能海寛資料27点貸出。

企画展の一部展示替え作業実施。

7月 9日 北広島町(豊平)一行・能海寛企画展見学。

7月12日 民俗資料館庭の庭木の剪定作業。

7月13日 第14回能海寛研究会年次大会記念講演会後援。

「20世紀初頭のチベットをめぐる国際情勢」白須淨真氏

7月20日 民俗研修旅行「古備路文化財探訪」実施(9名)。

7月21日 石正美術館へ池田一憲画伯の絵画5点を貸出。

7月23日 「能海寛関係資料」357点が市指定文化財「歴史資料」となる。

7月28日 「民具通信」第5号発行。

7月30日 金田一号墳の鉄剣2点、金環1点を修復のため市教委へ。

8月 3日 民俗資料館庭の草刈り作業。

8月 8日 「かなぎ民俗だより」第10号発行。

8月25日 浜田市資料館運営協議会開催。

8月29日 広島県立歴史博物館より能海寛資料返却。

9月11日 波佐小学校へ資料館出前授業「民具と暮らし」。

9月19日 波佐小学校3～4年生(6名)総合学習で、民俗資料館見学。

9月20日 「かなぎ民俗だより」第11号発行。

9月22日 民具役員会開催。

10月 1日 「かなぎ民俗だより」第12号発行。

10月19日 笠松峠の畳石路及び波佐一本松城散策路の草刈り清掃
作業実施。

10月30日 企画展展示替え作業。

11月 1日 「かなぎ民俗だより」第13号発行。

11月 1日 企画展「浜田市文化財指定記念『能海寛展』」開催。

11月13日 半津井福寿会(18名)

11月17日 石見公民館ペン習字教室(25名)

12月 4日 広島県善教寺一行(16名)。資料館階段下コンクリー舗装。

12月28日 「かなぎ民俗だより」第14号発行。



古備路文化財研修旅行



笠松峠の畳石路



浜田市文化財指定記念「能海寛展」

平成21年(2009年)

- 1月13日 民具役員会。
1月15日 「民具通信」第6号発行。
1月18日 第34回文化講演会「吉備地方のたたら製鉄」講師：光永真一氏 ときわ会館で開催。
1月20日 「かなぎ民俗だより」第15号発行。
1月31日 文化財防火デーにちなみ消防・防災・非難訓練実施(11名)
2月 4日 「かなぎ民俗だより」第16号発行。
2月26日 匹見母子会(22名)。金田古墳の直刀、金環修復返還。
3月 8日 自然保護団体交流会一行(25名)
3月 9日 民具を守る会役員会
3月10日 資料館運営協議会
3月17日 栃木県片山繁氏能海研究で来館
3月18日 広島志業多会一行(27名)
3月24日 山口県阿東町教育委員会一行(14名)
3月25日 資料館パンフ作成(3,000部)
4月 1日 浜田市金城資料館指定管理者受託契約
資料館非常勤学芸員3名(岡崎秀紀、高本康子、北村香香)を向こう3年間再任。
4月 4日 第41回西中国山地民具を守る会定期総会
4月11日 広島やまもの会一行(21名)
4月13日 浜田市役所新採用職員研修(8名)
4月26日 広島・正木氏「たたら」調査で来館
5月 6日 広島やまゆの会一行(25名)
6月 8日 竹迫町なかよし会一行(21名)
5月18日 波佐小学校へ「たたら学習」出前講座
6月11日 福山市・明正寺一行(12名)
6月14日 資料館周辺草刈作業
6月20日 「かなぎ民俗だより」第17号発行
7月12日 フランスからラサル夫妻(チベット学者)来館
7月23日 島根県年金受給者協会三隅支会一行(96名)
8月 8日 歴史民俗資料館倉庫清掃
8月10日 「かなぎ民俗だより」第18号発行。
8月23日 資料館周辺の草刈作業
8月29日 雲城小学校岡本先生児童引率前の事前学習で来館
8月30日 文化財保護事業「笠松峠の畳石路」の草刈清掃作業



たたら学習で歴史民俗資料館訪問



再現「たたら製鉄」



第34回文化講演会



右側ラサル氏(チベット学者)



再現「たたら製鉄の炉」

- 9月 8日 黒沢公民館一行(34名)
 9月16日 雲城小学校(20名)
 9月24日 清和学園(3名)
 9月25日 教職員退職者会一行(26名)
 10月15日 専念寺一行(47名)
 10月16日 高本さん一行(9名)
 10月13日 島根県高等学校地歴科研究会一行(52名)
 10月20日 鉄穴流し法による「砂鉄」の採取実験(波佐小学校と共同)
 10月21日 波佐公民館へ出前講座
 11月 7日 大田市退職校長会一行(25名)
 11月12日 籾による「たたら」の炉造り作業実施(波佐小学校と共同)
 11月23日 井野公民館一行(25名)
 11月27日 大森飯山を歩く会一行(15名)
 12月 3日 今福小学校(11名)
 12月 6日 民俗資料収納(農具・山樵用具)
 12月 9日 役員会
 12月10日 しまねミュージアム協議会主催講習会へ参加(3名)
 12月15日 たたら炉の乾燥のために空炊き作業・籾、キロの設置
 12月16日 実践民俗学第10弾・古代たたら製鉄法による「たたら製鉄」火入れ(砂鉄30Kg)波佐小学校全児童参加砂鉄投入・フイゴ吹き体験をする。
 「かなぎ民俗だより」第19号発行
 12月17日 「たたら製鉄」による鉄鉄12Kgを採取
 「かなぎ民俗だより」第20号発行
 12月19日 民俗資料収納(鍛冶屋用具一式)
 12月25日 資料館除雪作業(40cm)

平成22年(2010年)

- 1月10日 「民具通信」第7号発行。
 1月18日 「かなぎ民俗」第21号発行。
 1月23日 資料館消防・防災訓練実施。
 2月20日 「かなぎ民俗」第22号発行。
 3月 2日 実践民俗学第10弾『たたら製鉄』再現 砂鉄100Kg、木炭70Kgを使用する。
 「民具だより」第8号発行、「かなぎ民俗」第23号発行。
 3月 3日 炉を取り壊し、鉄鉄取り出し作業。約50Kgを採集。波佐小学校全児童参加。



ふるさと学習(波佐小学校児童)



民具学習(雲城小学校)



来観者に大きな障害壁となっている資料館前の歩道カーブ



たたら火入れメンバー



波佐小学校児童たちと



第35回文化講演会

- 3月 5日 企画展展示替え作業(3名)
 3月 6日 企画展『石見のたたら製鉄と流通』開催。
 3月17日 波佐小学校5、6年生企画展見学(10名)
 3月20日 「かなぎ民俗」第24号発行
 3月21日 第35回文化講演会「俄国一博士のたたら製鉄調査をめぐって」
 講師:角田徳幸氏(鳥根県古代文化センター専門研究員)
 受講者企画展「石見のたたら製鉄と流通」を見学
 3月22日 「かなぎ民俗」第25号発行
 3月29日 歴史資料館階段の手すり設置
 3月29日 役員会開催
 4月10日 第42回西中国山地民具を守る会定期総会。
 4月13日 浜田市新採用職員研修(8名)
 5月 3日 能海寛歌碑めぐりウォーク協賛。
 5月 4日 チベット人歌手テンジン・ドウトップ氏来館。
 6月17日 ミュージアム協議会へ「出雲弥生の里資料館」3名参加。
 6月20日 岡見公民館より研修視察。
 7月 3日 大津公民館より研修視察。
 7月11日 文化財研修旅行(妻木晩田遺跡、和銅博物館ほか)。
 8月 1日 「かなぎ民俗」第26号発行。
 8月 7日 京都女子大学(篠原氏)能海寛を卒論テーマで来館。
 8月31日 企画展「石見のたたらと流通」終了。
 9月13日 広島市「BS観光」が「能海寛ツアー」で来館。
 9月22日 金城中学校生「ふるさと教育」で来館。
 10月3日 市指定史跡「笠松峠の畳石路」草刈清掃作業実施。
 10月4日 今福小学校3～4年生「民具学習」で来館。
 10月20日 津和野町一行「能海寛ツアー」研修視察。
 10月22日 波佐小学校3～4年生「民具」学習。
 10月25日 大田市一行「能海寛ツアー」で来館。
 10月27日 波佐小学校5～6年生「たたら学習」で来館。
 10月28日 資料館蒸蒸作業立会。
 11月12日 すこやか考一行研修視察。



波佐小学校のふるさと学習



浜田市役所新採用者研修で来館



ふるさと学習で来館

平成23年(2011年)

- 1月 7日 企画展・展示作業。役員会開催。
 1月10日 「文豪島村抱月パネル展」開催。「かなぎ民俗」第27号発行。



文豪「島村抱月パネル展」



ふるさと学習で資料館へ



歌碑巡りウォーク

- 1月17日 金城資料館の防災機器点検立会。
- 1月22日 文化財防火デーにちなみ「消防・防火訓練(通報・避難誘導・消火活動)」を実施。
(浜田消防署美又出張所職員2名派遣指導)
- 1月23日 「かなぎ民俗」第28号発行。
- 2月 1日 「民具通信」第10号発行。
- 2月 4日 浜田市市民合唱団一行「島村抱月パネル展」研修視察。
- 3月 6日 島根県文化財愛護協会より「団体表彰」を受ける。
- 3月13日 第36回文化講演会「島村抱月の仕事」～芸術座の活動～ 講師:岩町功氏。
- 3月21日 「民具通信」第11号発行。
- 4月10日 第43回西中国山地民具を守る会定期総会。
- 5月 3日 能海寛歌碑めぐりウォーク協賛。
- 5月 7日 新会員研修会。
- 5月 8日 館庭の草刈り清掃。
- 5月12日 ディーサービス浜の家来館。
- 5月15日 麻木の剪定手入れ。
- 6月16日 佐賀県より研修。
- 6月26日 資料館庭の草取り。
- 7月 3日 資料館前、歩道の清掃。
- 7月 9日 同志社大学から研修視察。
- 7月10日 公民館側斜面の草刈り。
- 7月17日 民俗研修旅行(松江歴史館ほか)実施。
- 7月23日 歴史館の草取り。
- 7月24日 民具の寄贈受入れ24点、台帳作成済み。
- 7月31日 福山市より研修視察。
- 8月21日 館庭の草刈り作業。
- 8月27日 歴史館2階、収納室清掃。桑原文書整理。
- 9月24日 館庭の草刈り作業。
- 9月27日 BS観光(蒲刈島聞名講一行)来館。
- 9月30日 原井小学校3-4年生82名来館。午前3年生、午後4年生。引率者5名。
- 10月 1日 歴史館常光灯5個、プレーカー1個交換。
- 10月 2日 笠松峠の畳石路の草刈り清掃。資料館の内外清掃作業。「かなぎ民俗」第30号発行。
- 10月 6日 雲城小学校4年生25名社会科学習で来館。
- 11月 5日 会員研修(ガイド研修)。
- 11月19日 縁の里づくり委員会主催で広島市から27名来館。
- 12月10日 農具調査表No. 1-121デジタル処理。



課外学習(民具)後野小学校児童



松江方面へ文化財研修旅行



島根県文化財愛護協会より表彰状



第36回文化講演会の模様



縁の里の間で体験

12月18日 農具調査表No. 122-165デジタル処理。

12月25日 積雪30cm除雪作業。

平成24年(2012年)

1月 6日 積雪40cm除雪作業。

1月11日 消防用設備点検立会。和光電通kk(春日伸氏)。

1月17日 雲城小学校3年生26名社会科学習で来館。引率者1名。

民具見学の後に、ときわ会館でパワーポイントによる課外授業実施。役員会開催。

1月21日 山樵用具調査表No. 1-110デジタル処理。

1月24日 後野小学校3年生6名社会科学習で来館。引率者1名。

1月28日 文化財防火デーに伴う「消防訓練」を実施。浜田消防署美又出張所職員2名による通報・避難・消火訓練を実施。自衛消防隊15名参加。

3月11日 第37回文化講演会「近世石見地方のたたら経営とその特質について」

講師 石見銀山資料館長 仲野義文氏

3月28日 久佐公民館

4月 6日 島根大学より視察。

4月 7日 第44回西中国山地民具を守る会定期総会。

「民俗通信」第13号発行。

4月8日 たたら古文書写真撮影(221点)。

4月23日 安佐町郷土研究会。

4月28日 たたら古文書整理。

4月29日 今回一行22名。

5月 3日 能海寛政碑めぐりウォーク2012 協賛。

4月29日 新会員研修会。

5月 8日 館庭の草刈り清掃。

5月15日 庭木の剪定手入れ。

5月26日 山陰中央新報取材のため来館。たたら古文書写真撮影。

6月 7日 安佐町郷土史研究会一行(35名)。

6月16日 邑南町から来館。たたら古文書整理。

6月19日 美都町一行(21名)。

6月24日 館庭の樹木選定。

7月 8日 歴史資料館庭の草取り清掃。

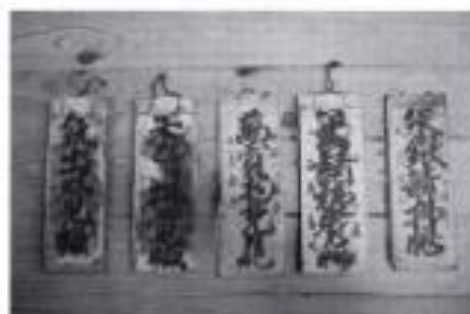
7月10日 公民館側斜面の草刈り清掃。

7月14日 美都町在住アメリカ人2名来館。

7月15日 「かなぎ民俗」第34号。歴史館の草取り清掃。



第37回文化講演会の模様



たたら大福帳(古文書)



課外授業風景



笠松峠の草刈清掃



資料館見学(浜田区書館読書会の皆さん)

- 8月21日 館底の草刈作業。
 8月27日 歴史館2階、収納室清掃。桑原家文書整理。
 9月13日 波佐公民館へ出前授業。
 9月29日 たたら古文書処理。
 9月30日 笠松峠の畳石路の草刈り清掃17名。資料館内外清掃
 10月 2日 波佐小学校へ出前授業(3~4年生)。
 10月 3日 田儀桜井家たたら保存会。中国から来館。
 10月 4日 民俗研修旅行実施(古事記 1300年「神話博しまね」、出雲古代博物館、ゴピオスなど)
 10月 5日 「民具通信」第14号発行。
 10月11日 波佐小学校へ出前授業(3~4年生)。
 10月13日 浜田図書館一行(28名)。
 10月24日 いきいきサロン一行(15名)。
 11月 6日 多岐文化伝習館一行(34名)。
 11月17日 緑の里づくり委員会主催で広島市から32名来館。
 11月19日 東洋大学OB会一行。
 12月18日 浜田消防署美又出張所より消防施設立入点検。
 12月25日 積雪30cm除雪作業。



文化財研修旅行（「神話博しまね」）

平成25年(2013年)

- 1月 5日 たたら関係資料整理。
 1月11日 消防用設備点検立会。和光電通kk春日仲氏ほか1名。
 1月14日 役員会開催。
 1月26日 文化財防火デーに伴う「消防訓練」を実施。浜田消防署美又出張所職員2名による通報・避難・消火訓練を実施。自衛消防隊11名参加。
 1月26日 自主研修会実施(ときわ会館)
 1月26日 「民具通信」第15号発行。
 1月28日 「かなぎ民俗」第35号発行。
 2月 9日 たたら関係資料整理。
 3月 2日 たたら関係資料整理。
 3月 日 役員会開催。
 3月 9日 第38回文化講演会「文化財保護活動に携って」
 講師 渡辺友千代 匹見上公民館長。
 3月10日 「かなぎ民俗」第36号発行。
 3月13日 浜田市資料館協議会へ出席。
 3月16日 民俗資料館のLED照明切替え14か所。



民俗資料台帳・たたら古文書のデジタル整理



第38回文化講演会



自衛消防隊の防火訓練の様相



卒仕作業後のひと時

- 4月 6日 民具受入収納。
 4月 7日 第44回定期総会開催。
 4月10日 「民具通信」第16号発行。
 5月22日 文化財保護活動「波佐一本松城」登山道の草刈作業。
 5月30日 文化財啓蒙活動「波佐一本松城見学」(波佐小学校5・6年生)ふるさと学習支援。
 5月26日 消火器6個新規購入。民俗資料館へ4個設置。歴史資料館へ2個設置。
 5月29日 広島・歴史楽会一行(25名)来館。
 7月 2日 文化財啓蒙活動「花城見学」(波佐小学校5・6年生)ふるさと学習支援。
 7月 4日 たたら学習で来館(21きずなの会一行、14名)
 7月21日 文化財保護活動「笠松峠の畳石路」草刈清掃作業実施(10名)。
 金城資料館館内清掃(6名)。

- 7月27日 「民具通信」第18号発行。
 8月 1日 「かなぎ民俗」第37号発行。
 8月 9日 役員会開催。
 9月 9日 金城民俗資料館へ看板設置。
 10月1日 「かなぎ民俗」第38号発行。
 11月1日 『実践民俗学提唱45年の歩み』発刊。
 11月2日 金城資料館開館40周年記念「市民感謝デー」
 11月3日 金城資料館開館40周年記念「市民感謝デー」
 11月4日 金城資料館開館40周年記念「市民感謝デー」



新たに資料館の看板を設置

第39回文化講演会開催。演題『峠を越えた魚』～日本食文化の旅～
 講師・神崎宣武氏(神崎研究所長)

神崎宣武氏(かんだきのりたけ)プロフィール



神崎研究室室長・旅の文化研究所所長。1944年、岡山県生まれ。武蔵野美大在学中より宮本常一に師事。以降、国内外の民俗調査・研究に従事。陶磁器の技術伝播の調査と民具の収集に始まり、食文化に展開。旅への関心は、フィールドワークの体験と旅先で出会った行商の人たちとのつきあいから。郷里の吉備高原では神主でもある。旅の文化研究所所長、日本民俗学会会員、文化審議会委員、東京農大客員教授、五十鈴塾塾長など。



文化財保護活動・笠松峠にて



文化財奉仕デー・資料館前



文化財消防デー・資料館前

かなぎ民俗

周知版

697-0211 浜田市金城町波佐

浜田市金城民俗資料館

浜田市金城歴史民俗資料館

今一度見直そう！ 祖先の足跡・・・

常設展 「石見山村の生産用具・生活用具」

われわれの祖先が、日常の生産生活に用いた民俗資料(民具)は、今から44年前に、金城町波佐・長田・小国地区において、西中国山地民具を守る会員が全戸訪問による開取り調査を経て全点数が無償提供により約3,000点の民具が収集された。この内の758点が国指定重要有形民俗文化財として、221点が島根県指定有形民俗文化財となり、全国的にも稀少な民具を数多く収蔵している資料館です。



茅の鹿茸、藁の受買など稀少な製法による紙漉き用具が完全に収蔵展示されている。

量・質共に揃っている、この資料館は学術的にも高い評価を受けている。一点毎の民具には、名称・寸法・製作地・使用地・使用下限・入手方法・使用解説などが細部にわたり記録されている。幾たび訪問しても、飽きのこない資料館でもあります。民具の使用形態の写真も豊富に展示し、往時の姿を彷彿させます。ふるさと学習で是非ともご来館ください。

近場の観光スポット(セットでお楽しみ下さい。)

浜田市金城歴史民俗資料館(「石見のたたら製鉄展」。能海寛資料。島村抱月資料)
天頂山浄蓮寺・能海寛顕彰碑(チベット探検家能海寛の生家と顕彰碑)
常磐山八幡宮と大絵馬(源氏の武将・佐々木高綱の建立した社。絵馬16面)
常磐の大杉とカシ林遊歩道(島根県指定天然記念物のアシオスギとカシ林33株)
普明山永昌寺・尼子経久公の墓(戦国の武将尼子経久の建立した前寺と経久の墓)
笠松峠の畳石路(市指定史跡。1,200mと全国第二位の距離を誇る畳石路)
能海寛歌碑めぐり(8箇所10基をめぐる6Kmウォーキング・コース)
島村抱月生誕地顕彰の杜公園&桑田岩石園(抱月胸像・略歴碑・歌碑。115点の岩石)

「ふるさと学習」は 金城歴史民俗資料館で

金城歴史民俗資料館は、縄文・弥生・古墳・奈良・平安・鎌倉・室町時代と全時代が継続する遺跡から出土した埋蔵文化財を以って古代史・中世史を学習するのに相応しい資料館である。古代から栄えた「黒金(たたら製鉄)」を産出する、鉄穴場、炭焼き場、たたら場、鍛冶屋の一連の工程をたたら生産遺跡としている。この資料館には、往時の状況を克明に表すたたら関係古文書、関係用具類が石見地方では唯一収蔵されている資料館です。

チベット巡礼探検家の能海寛が中国西域で蒐集したチベット語経典・仏具・仏像、書き残したおびたしい記録物など3,000点を収蔵している。文豪の島村抱月関係資料50点。

この資料館にある資料と資料館周辺の遺跡・建造物・城郭などで活きた歴史学習が出来る。「ふるさと学習」には、もってこいの現場である。地域丸ごと博物館といっても過言ではない。

出前授業も実施中！

資料館では、「ふるさと学習」に対応できるパワーポイントによる「現地学習」や「出前学習塾」もおこなっております。対応できるメニューは、「金城の古代・中世史」、「たたら学習」、「金城の偉人・能海寛と島村抱月」、「米紙上納の歴史」、「石見の紙漉きと紙布づくり」、「民具と民俗」、「昔の暮らしと民具」、「石見地方の労働慣行」、「金城の観光」などです。



鍛冶屋用具を手にする小学生

金城の偉人 チベット巡礼探検家『能海寛』・文豪『島村抱月』の生涯が学習できる資料館です。

【見学などのご照会は、TEL0855-44-0146へ】



浜田市金城民俗資料館

【館内展示の特徴】

この民俗資料館は西中国山地国定公園大佐山(1,069m)の西北麓に位置し、南北に長細い盆地の中央部、金城町波佐イ425-5番地に建設しています。

江戸時代は津和野藩に属し、元和3年(1617年)に波佐代官所が置かれ元禄4年(1691年)の改高により波佐組7カ村 3,000石となりました。その時代において「米紙上納」という言葉で示されるように、米と楮半紙の上納が定められ、波佐地方の全農家が紙漉きに携わっていました。

資料館はこうした時代の背景となった農家の蔵を模して設計しています。ここに展示している有形民俗文化財(民俗資料)は「西中国山地民具を守る会」が収集し、石見地方山間部農村の生産・生活の特色を示す資料として体系的にまとめ3,000点を展示しています。 建築面積 197.6㎡ 床面積 272㎡

【収蔵品一覧】

国指定重要有形民俗文化財

波佐の山村生産用具

(758点)昭46.12.15 指定

(指定理由)田波佐村は、中国山地の分水嶺に近い高知にあり、殆どが山地で農地は少なく、江戸時代には津和野藩の紙年貢に供するため紙を漉いていました。民具収集は住民の自発的意志によって巨細にわたり取りまとめたもので質量ともによく備わり、この地域の生産生活の特色を示すものとして重要。

国指定・重要有形民俗文化財

1. 農具 ……………244点
2. 山樵用具 ……………110点
3. 紙漉き用具 ……………110点
4. 紡織用具 ……………152点
5. 運搬具……………64点
6. 仕事着……………78点

観覧入館料(両館共通券)

大人 300円 団体 25名以上 200円
中・高・大学生 100円 (団体) 60円
小学生 60円 (団体) 30円
休館日(国民の祝日・年末年始)
開館時間 9時～17時

土・日以外は、事前に電話予約が必要。

TEL(0855)44-0146

鳥根県指定有形民俗文化財

波佐の山村生活用具

(221点)昭47.7.28 指定

(指定理由)石見部山間部における伝統的食生活を系統的に知ることができる資料です。

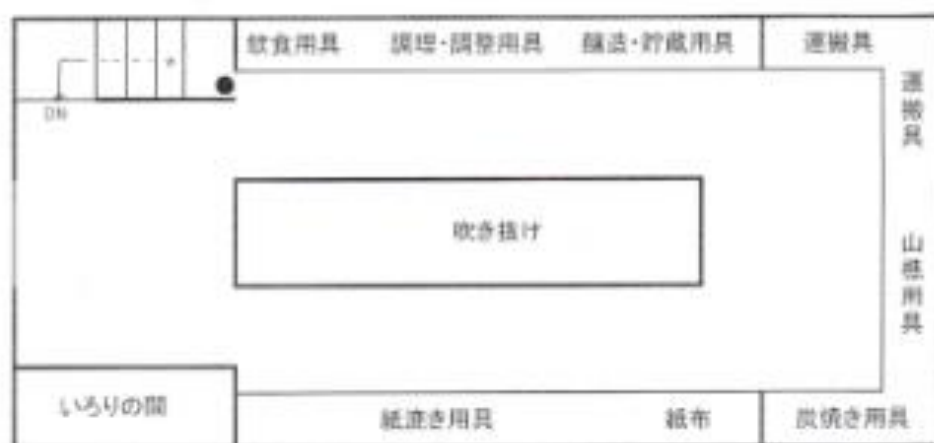
鳥根県指定・有慶民俗文化財

1. 食品製造貯蔵用具 ……41点
2. 食物調理調製用具…………76点
3. 飲食用具 ……104点

- 家具……………150点
- 屋根葺き用具……………20点
- 装身具……………60点
- 組屋の壁紙……………500点
- 灯火用具……………45点
- 狩猟用具……………20点
- 工匠用具……………80点
- その他……………1,200点

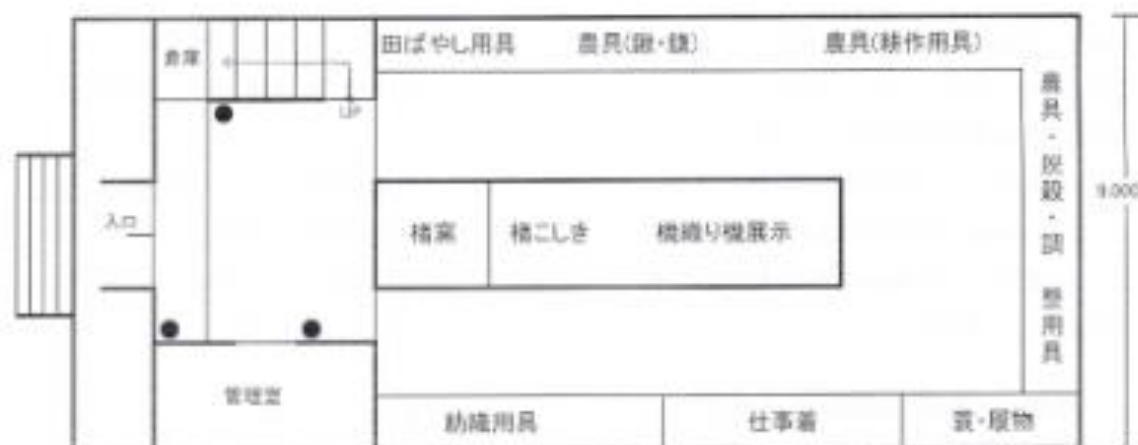


浜田市金城民俗資料館平面図



二層図面

●印は、消火器の設置場所を表す。



一層図面

建築面積:197.6㎡
床面積:272㎡



浜田市金城歴史民俗資料館

【館内展示の特徴】

この歴史民俗資料館は、金城民俗資料館の真向かいにある白壁の建物です。波佐地方は西中国山地の良質な真砂砂鉄と豊富な木炭資源に恵まれていたことから「たたら製鉄法」が古来行われてきました。

鉄穴流し場、鑪所、鍛冶屋などの遺跡は50数箇所あります。特に、この資料館は橋下鑪・鍛冶鑪から製品とした「長割鉄」などを問屋へ出荷するまでの間、一時この蔵に集荷していたことから「たたら蔵」と呼ばれていました。砂鉄や長割鉄を運搬するには、農家で飼育していた馬103頭がこれに携っていました。

約200年前に建てられた、この蔵は所有者・佐竹操氏から市が寄贈を受け文化財として永久に保存活用をはかるため「歴史民俗資料館」として改修した展示館です。こうしたことから「二丁鑪蔵」の復元展示、たたら関係用具、たたら古文書、たたら製鉄品など石見地方唯一のたたら資料館です。

また、この町に生まれた偉人、チベット巡礼探検家・能海寛、文豪・島村抱月の資料、埋蔵文化財、歴史資料を収蔵・展示しています。建築面積 68.85 m² 床面積 137.7 m²

【収藏品一覧】

浜田市指定文化財・歴史資料

能海寛関係資料

(357点) 平 20.7.23 指定

(指定理由)能海寛が記述・持来した資料は、宗教、地理、政治、産業など他分野にかかわる貴重な資料で、当時の文化史・交流史の研究に寄与する学術価値が高い。

観覧入館料(両館共通券)

大人 300円 団体 25名以上 200円

中・高・大学生 100円 (団体) 60円

小学生 60円 (団体) 30円

休館日(国民の祝日・年末年始)

開館時間 9時～17時

土・日以外は、事前に電話予約が必要。

TEL (0855) 44-0146

【歴史資料】

- 能海寛資料……………3,000点
- たたら製鉄用具……………80点
- 鉄穴流し用……………10点
- 鍛冶屋用具……………200点
- 島村抱月資料……………50点
- たたら古文書……………2,500点
- 地方文書……………500点
- 考古資料……………3,000点

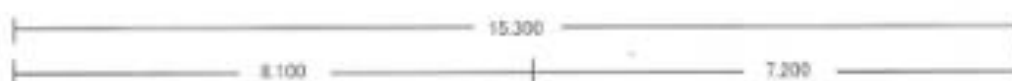


浜田市金城歴史民俗資料館平面図



二期図面

●印は、消火器の設置場所を表す。



一期図面

建築面積68.85㎡

床面積137.7㎡



資料館の東側正面玄関口



資料館の西側（国道側）

金城町内の指定文化財一覧

【国指定】

- 重要有形民俗文化財 「波佐の山村生産用具」 758点 昭和46.12.15

【島根県指定】

- 有形民俗文化財 「波佐の山村生活用具」 221点 昭和47.7.25
- 天然記念物 「常磐の大杉」 5株 昭和47.3.31

【浜田市指定】

- 工芸品 「如来形懸仏」 平成20.7.23
- 古文書 「吉川元春・元長連署安堵状」 平成20.7.23
- 歴史資料 「能海寛関係資料」 357点 平成20.7.23
- 考古資料 「金田一号墳出土品」 昭和58.12.26
- 史跡 「金田一号墳」 昭和58.12.26
- 史跡 「笠松峠の疊石路」 昭和58.12.26
- 史跡 「波佐一本松城跡並びに関連遺跡」 昭和62.12.18
- 天然記念物 「金城の巨樹・銘木」 昭和53.3.31

大久佐川のシキミ群生	10株
大久佐川のネズミサシ	1株
大久佐川のヒヨクヒバ	1株
大久佐川のエノキ	1株
山藤のクロマツ	1株
下久佐のシキミ	1株
大鏡神社のスタジイ及びエノキ巨樹群	
新聞のモッコク	1株
伊木八幡宮の大フジ	1株
伊木八幡宮のイチイガシ	1株
上来原大元社のタブなど巨樹群	7株
大谷のヤマガキ	1株
旗土峠のアベマキ	1株
光超寺の大銀杏	1株
不豆塚のヤブツバキ群及びケヤキ巨樹群	
永昌寺の大杉	1株
千谷母屋の連理のモミジ	1株
長田郷の大エノキ	1株
東谷上の大ガシ	1株
浄蓮寺のハクモクレン	1株
若生のケヤキ巨樹群	5株
若生の大モミジ	1株
鍋淵のカツラ	1株



西中国山地民具を守る会 会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この会は、西中国山地民具を守る会という。

(所在地)

第2条 この会は、島根県浜田市金城町渡佐イ426-1番地、浜田市金城民俗資料館内に置く。

(目 的)

第3条 この会は、会員相互の団結のもとに金城町内の文化財の保護活用をはかり、もって次の三大項目を達成することを目的とする。

1. われわれは、民俗文化の本質とその変遷を正しく理解するため西中国山地を中心とする民具の分布などを調査し記録する。
2. 我々は、日ごとに失われていく民具に保護の手を差しのべ民俗文化の伝播を正しく後世に伝えるべく収集し、保存する。
3. 我々は、民俗文化の特質と民具の保護の重要性を広く一般に啓発する。

(事 業)

第4条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

1. 会員相互の親睦をはかること。
2. 民俗学について研修会を開くこと。
3. 民具を収集、保存し、この分布を調査し、記録する行動を行なう。
4. 民俗文化財保護の重要性を広く一般に啓発する。
5. 浜田市金城民俗資料館並びに浜田市金城歴史民俗資料館の展示整備と一般公開に関する業務の受託。
6. 歴史資料の調査研究に関すること。
7. その他、会の目的を達成するためにひつようなこと。

第2章 会 員

(会 員)

第5条 この会の会員は、この会の趣旨を理解し、かつ賛同するものをもって会員とする。

第3章 機 関

(機 関)

第6条 この会に次の機関を置く。

1. 総会
2. 役員会
3. 研修会

(総 会)

第7条 総会は全会員をもって構成し、年1回、4月に会長が招集する。

(役員会)

第8条 役員会は第11条の役員をもって構成し、必要に応じて会長が招集する。

(研修会)

第9条 研修会は全会員をもって構成し、会長が招集する。

(会議の成立)

第10条 総会及び役員会は、その3分の2以上の出席者で成立する。この場合において出席者の全員から議決権の委任を受けることができる。

(役員)

第11条 この会に、次の役員を置く。

- | | | | |
|----------|----|--------------|-----|
| 1. 会 長 | 1名 | 4. 幹 事 | 若干名 |
| 2. 副 会 長 | 1名 | 5. 事 務 局 長 | 1名 |
| 3. 監 事 | 2名 | 6. 事 務 局 次 長 | 1名 |

(任 務)

第12条

1. 会長は、この会を代表し、会の業務を総括する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは業務を代行する。
3. 監事は、事務会計を監査し、総会において監査報告をする。
4. 幹事は、会長の命を受け業務の運営にあたる。
5. 事務局長、事務局次長は、会長の定めるところにより、事務及び会計を処理する。

(役員を選出及び任期)

第13条 役員を選出は、総会において推薦、又は選挙する。

第14条 役員任期は1年とする。但し、再選をさまたげない。欠員補充による役員任期は前任者の残任期間とする。

第5章 会 計

(経 費)

第15条 この会の経費は、会費及び寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。

(会 費)

第16条 会費は、普通会費と特別会費とする。

1. 会費は年額5,000円とし、年度当初に事務局へ納入するものとする。
2. 特別会費は、必要に応じて徴収することができる。

(会計年度)

第17条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第6章 顧 問

第18条 この会に顧問を若干名置くことができる。

(付 則)

1. この会の会則の改正を必要とする時は臨時総会を開き改正することができる。
2. 昭和43年12月 1日 制定
3. 昭和48年 1月28日 一部改正
4. 昭和49年 7月 1日 一部改正
5. 昭和53年12月 1日 一部改正
6. 昭和57年 1月30日 一部改正
7. 昭和59年 1月28日 一部改正
8. 平成12年 4月 1日 一部改正
9. 平成20年 1月26日 一部改正



西中国山地民具を守る会 三大目標

1. われわれは、民俗文化の本質とその変遷を正しく理解するため西中国山地を中心とする民具の分布などを調査し記録する。
2. われわれは、日ごとに失われていく民具に保護の手を差しのべ民俗文化の伝播を正しく後世に伝えるべく収集し、保存する。
3. われわれは、民俗文化の特質と民具の保護の重要性を広く一般に啓発する。

西中国山地民具を守る会会員名簿

氏 名	住 所	役 職 名	前 役 職
一 町 仁 市	浜田市金城町波佐	顧問	初代会長
稲 生 啓 人	浜田市金城町波佐	幹事	
岩 田 哲 夫	浜田市金城町波佐		
岩 田 正 壽	浜田市金城町波佐		
上 山 信 人	浜田市金城町波佐	副会長	監事
上 山 忠 治	浜田市金城町波佐		
上 山 均	浜田市金城町波佐	顧問	2代目会長、副会長、事務局
岡 本 千 恵 子	浜田市金城町小国		
岡 本 利 道	浜田市金城町波佐		事務局次長、幹事
岡 本 正 儀	浜田市金城町波佐		
奥 本 国 男	浜田市金城町波佐		
奥 本 武 友	浜田市金城町長田	監事	副会長、幹事
加 納 昭 明	浜田市金城町波佐	監事	事務局次長
小 林 敏 夫	浜田市金城町波佐		
酒 井 金 寿	浜田市金城町波佐	事務局次長	幹事
隅 田 勝 幸	浜田市金城町長田	幹事	
隅 田 正 三	浜田市金城町波佐	会長	副会長、事業部長、事務局次長
隅 田 哲 夫	浜田市金城町波佐	事務局次長	
田 中 タキヨ	浜田市金城町波佐		
寺 崎 君 子	浜田市金城町波佐		
古 田 浩 吉	浜田市金城町波佐		
横 田 浪 子	浜田市金城町小国		
横 田 ハツコ	浜田市金城町波佐		

氏 名	住 所	職 名	所 属 部 署
岡 崎 秀 紀	松江市古志原町7丁目6-12	非常勤学芸員	浜田市金城歴史民俗資料館
高 本 康 子	札幌市北区北9条西7丁目 北海道大学スラブ研究センター	非常勤学芸員	浜田市金城歴史民俗資料館
北 村 春 香	小平市美園町1-8-1-1116	非常勤学芸員	浜田市金城民俗資料館

あ と が き

この度、『実践民俗学提唱45年』と題して冊子を発刊するにあたり、これまでの45年間にわたり、多くの関係者の皆様方に、ご指導とご協力をいただきましたことに対して衷心より厚く御礼申し上げます。

昭和43年11月に地元の有志15名で「西中国山地民具を守る会」を結成いたし、44年3月18日から民俗資料の実地調査と収集活動を開始して、半年間で、800余点の資料の提供を受け、同年11月2日～3日(2日間)旧役場支所で民俗資料展示会を開催し、地区住民へ文化財の啓蒙活動を展開しました。

その後1年間で約2,500点の民具の収集に至りました。これら全ての民具は住民の無償提供でありました。一点ずつの民具には台帳が整備され、名称、寸法、製作者、製作年代、使用者、使用下限、用途、使用方法、入手経路などの情報が記入されており、国指定重要有形民俗文化財「波佐の山村生産用具758点(農具、山樵用具、紙漉き用具、運搬具、紡織用具、仕事着)」。島根県指定有形民俗文化財「波佐の山村生活用具221点(醸造・製造貯蔵用具、調理・調製具、飲食用具)」の指定を受け、昭和48年11月3日に民俗資料館がオープンしました。

開館前から、「実践民俗学」を提唱して、「精蒸し作業の実践」、「旧製法による紙漉き作業の実践」、「農具を用いた労働慣行の実践」、「麻栽培と麻蒸しの実践」、「たたら製鉄の実践」などを聞き取り調査に基づいて全作業工程を実践し、写真に収め民具の使用方法的補助説明として写真を活用しているところであります。

民具を守る会の活動45年間にわたる文化財保護・啓蒙活動の詳細は、『民具を用いた労働慣行』(2007年刊)として一冊にまとめて既に出版しております。これからも学校教育、社会教育の現場において文化財保護活動等で活用されることを希望いたしております。

これからも民俗文化を後世に正しく引き継ぐ運動を実践して参りますので引き続きご指導を賜りますようお願いいたします。

2013年11月吉日

西中国山地民具を守る会

会長 岡田正三



西中国山地民具を守る会研修旅行 (2006. 10. 12)

『実践民俗学提唱45年の歩み』

発行日 平成25年11月1日
編集発行 西中国山地民具を守る会
〒697-0211
島根県浜田市金城町波佐
浜田市金城資料館内
TEL (0855) 44-0146
FAX (0855) 44-0143